

1	課 程	商業実務専門課程	5	科 目 名	就職対策 I	
2	学 科	ホテル観光科	6	科 目 番 号	5	
3	授 業 時 間 数	20時間	7	期	前期	
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	渡邊 和馬	9	授 業 形 態	講義
		資 格	—		所 属	熊本YMCA学院
		実 務 経 験	ホテル勤務12年			
11	教 科 書	ビジネス能力検定ジョブパス3級				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	—				
13	科 目 の 概 要	ビジネス能力をつけるための座学を経て目指す業界研究、業種の理解と就職活動を始める前の自己理解や他者理解を行い、本格的な就職活動に向けて自らの職業観や適性について学びを深める。				
14	科 目 の 到 達 目 標	ビジネス能力をステップ1として業界を理解、ステップ2は実習先研究を行う。				
15	科 目 の 必 須 条 件	—				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意すること。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かろうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)				
17	講 義 の スケジュール	①	コミュニケーションとビジネスマナーの基本			
		②	キャリアと仕事へのアプローチ			
		③	会社活動の基本			
		④	業界研究(自己分析)			
		⑤	業界研究			
		⑥	マイナビ・リクナビ等について			
		⑦	就職課の紹介			
		⑧	業界研究			
		⑨	訪問企業調査 I			
		⑩	訪問企業調査 II			
18	参 考 書					

1	課 程	商業実務専門課程	5	科 目 名	就職対策Ⅱ	
2	学 科	ホテル観光科	6	科 目 番 号	6	
3	授 業 時 間 数	30時間	7	期	後期	
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	渡邊 和馬	9	授 業 形 態	講義
		資 格	—		所 属	熊本YMCA
		実 務 経 験	ホテル勤務12年			
11	教 科 書	ビジネス能力検定ジョブパス3級				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	—				
13	科 目 の 概 要	就職を目指す業界研究、業種の理解と就職活動を始める前の自己理解や他者理解を行い、本格的な就職活動に向けて自らの職業観や適性について学びを深める。				
14	科 目 の 到 達 目 標	当年度の3月に解禁される就職活動に向けた就職対策の授業である。この授業を受けることで自己理解から就職に必要な知識や履歴書、エントリーシートの書き方などを学ぶ。そして実際の面接練習やアフターフォローまでおこなう。				
15	科 目 の 必 須 条 件	-				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意すること。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かろうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)				
17	講 義 の スケジュール	①	訪問企業調査Ⅰ			
		②	訪問企業調査Ⅱ			
		③	指示の受け方と報告、連絡・相談			
		④	話し方と聞き方のポイント			
		⑤	業界研究			
		⑥	業界調査(企業講話①)			
		⑦	業界調査(企業講話①)			
		⑧	自己分析			
		⑨	実習先調査Ⅰ			
		⑩	実習先調査Ⅱ			
		⑪	アポイントの取り方			
		⑫	電話ロールプレイング			
		⑬	訪問練習			
		⑭	実習ノート制作			
		⑮	最終確認			
18	参 考 書					

1	課 程	商業実務専門課程	5	科 目 名	ビジネスマナー I	
2	学 科	ホテル観光科	6	科 目 番 号	8	
3	授 業 時 間 数	20時間	7	期	前期	
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	上村 眞智子	9	授 業 形 態	講義、アクティブラーニング (ロールプレイ、グループワーク、グループディスカッションなど)
		資 格	・国家資格キャリアコンサルタント ・国家資格2級キャリアコンサルタント 技能士 ・アンガーマネジメントコンサルタント ・ダイバーシティコミュニケーション インストラクター ・教員免許(英語)高校2級、中学1級		所 属	キャリアデザイン工房有限会社 オフィスUEMURA
		実 務 経 験	ビジネスマナー講師32年			
11	教 科 書	実社会で求められるビジネスマナー				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等					
13	科 目 の 概 要	いろいろな場面における対応を講義形式とロールプレイ形式で学ぶことにより、対人関係の大切さを感じ習得してもらう内容です。 自己分析、自己理解作業と、今までのキャリアのたな卸し作業を通して自分の宝物に気付いて貰い、自分にとって適職とは何かを考えます。				
14	科 目 の 到 達 目 標	社会人として必要なマナーを身に付け、いろいろな世代の方々としっかりとした人間関係を築ける常識のある人間、かつ自分の思っていることを相手にきちんと理解してもらえるコミュニケーション能力が高い人の育成を目的としています。そして何よりも自分自身をよく理解し、キャリアビジョンが描ける人材育成を目的とします。				
15	科 目 の 必 須 条 件	・きちんとした服装・髪型をする事 ・明るく大きな声で返事をする事 ・授業中はしっかりとノートを取る事 ・配布するプリント類はきちんとファイルすること ・積極的な授業参加(教科書とノート、筆記用具は必ず持参) ・学生50%・社会人50%としての意識付け ・3つのS(Smile・Smart・Speedy)の理解				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意すること。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かのうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)				
17	講 義 の スケジュール	①	コミュニケーション、好感を与える話し方、返事と挨拶			
		②	気持ちを伝える大切な言葉、人に与える印象、好ましい言葉遣い			
		③	正しい敬語、敬語の分類、敬語の分類、敬語の使い分け			
		④	敬語混同?・言葉のおしゃれ・敬語の使い分けの練習			
		⑤	尊敬語と謙譲語の練習問題、敬語の総練習			
		⑥	ビジネス電話、電話対応の心構え、電話対応の流れ、電話対応での気になる言葉			
		⑦	受け方の基本(取つぎ電話)、取りつぎ電話の練習、マニュアルを書きましょう、こんなときどうしましょう			
		⑧	不在時の電話、不在時の言葉づかいとポイント、外出中の電話対応のポイント、練習問題 不在時の処理			
		⑨	伝言の受け方・伝え方、伝言メモの書き方、伝言メモの練習			
		⑩	職場内での電話・電話対応のときの用語例、電話対応のチェックリスト			
18	参 考 書					

1	課 程	商業実務専門課程	5	科目名	ビジネスマナーⅡ	
2	学 科	ホテル観光科	6	科目番号	9	
3	授 業 時 間 数	20時間	7	期	後期	
4	開 講 学 年	1年	8	選択・必修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	上村 眞智子	9	授 業 形 態	講義、アクティブラーニング（ロールプレイ、グループワーク、グループディスカッションなど）
		資 格	・国家資格キャリアコンサルタント ・国家資格2級キャリアコンサルタント 技能士 ・アンガーマネジメントコンサルタント ・ダイバーシティコミュニケーション インストラクター ・教員免許（英語）高校2級、中学1級		所 属	キャリアデザイン工房有限会社 オフィスUEMURA
		実務経験	ビジネスマナー講師32年			
11	教 科 書	実社会で求められるビジネスマナー				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等					
13	科 目 の 概 要	いろいろな場面における対応を講義形式とロールプレイ形式で学ぶことにより、対人関係の大切さを感じ習得してもらいます。自己分析、自己理解作業と、今までのキャリアのたな卸し作業を通して自分の宝物に気付いて貰い、自分にとって適職とは何かを考えます。				
14	科 目 の 到 達 目 標	社会人として必要なマナーを身に着け、いろいろな世代の方々としっかりとした人間関係を築ける常識のある人間、かつ自分の思っていることを相手にきちんと理解してもらえるコミュニケーション能力が高い人の育成を目的としています。そして何よりも自分自身をよく理解し、キャリアビジョンが描ける人材育成を目的とします。				
15	科 目 の 必 須 条 件	・きちんとした服装・髪型をする事 ・明るく大きな声で返事をする事 ・授業中はしっかりとノートを取る事 ・配布するプリント類はきちんとファイルすること ・積極的な授業参加(教科書とノート、筆記用具は必ず持参) ・学生50%・社会人50%としての意識付け ・3つのS(Smile・Smart・Speedy)の理解				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意すること。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かろうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)				
17	講義のスケジュール	①	対応の重要性、対応のしかた、基本動作練習、こころよく迎える			
		②	普通礼の練習、相手・用件を確かめる、名刺のエピソード、名刺の扱い方			
		③	対応のいろいろ、案内をする、上座の位置			
		④	ドアの開閉、お茶の接待、お茶の選び方・入れ方			
		⑤	対応の言葉、お見送り、対応の練習			
		⑥	文書について、いろいろな文書、文書の作成と取り扱い			
		⑦	社外文書の形式、ビジネス文書用語、間違いさがし、文書の受発信			
		⑧	ファイリングはコツコツと、文具と用途、ものはためし			
		⑨	手紙の書き方、お礼状を書く、あて名の書き方(はがき)、あて名の書き方(長封筒)			
		⑩	数字の書き方、数字の練習、手紙についてのQ&A			
18	参 考 書					

1	課 程	商業実務専門課程	5	科 目 名	サービス接遇	
2	学 科	ホテル観光科	6	科 目 番 号	12	
3	授 業 時 数	16時間	7	期	前期	
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	藤井 祥子	9	授 業 形 態	講義
		資 格	サービス接遇検定1級・秘書検定1級 日本話し言葉協会認定講師 日本サービスマナー協会認定マナー講師		所 属	
		実 務 経 験	話し言葉協会認定講師14年			
11	教 科 書					
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	実務技能検定協会 サービス接遇実務検定試験				
13	科 目 の 概 要	テキスト、過去問題や等を通して、サービス接遇実務に求められる5つ領域(サービススタッフの資質、専門知識、一般知識、対人技能、実技技能)について学習し、よいサービスを提供する力と検定に合格する力を養う。				
14	科 目 の 到 達 目 標	サービス接遇実務について理解し、現場でより高度なサービスを行うのに必要な心構え、知識、技能を身につける。 サービス接遇実務検定3級合格を目的とする。				
15	科 目 の 必 須 条 件	成績は、検定試験、出席率、授業態度、学習意欲、提出課題等を総合して評価する。 (出席率、授業態度、学習意欲、提出課題 50点+検定試験 50点 計100点) 授業態度とは、授業参加の状態(発表、模擬試験、板書写し、課題提出等)と授業不参加の状態(携帯電話・スマートフォンの使用、私語、居眠り他)のこと				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意すること。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かろうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)				
17	講 義 の スケジュール	①	サービス接遇検定とは・5つの領域と事例問題・敬語の種類と使用例			
		②	模擬試験1・解答解説 記述問題の解き方			
		③	模擬試験2・解答解説 ことわざ・慣用句			
		④	模擬試験3・解答解説 商業用語・経済用語			
		⑤	模擬試験4・解答解説 冠婚葬祭			
		⑥	模擬試験5・解答解説			
		⑦	模擬試験6・解答解説			
		⑧	検定試験 解答解説 2級について			
18	参 考 書	実務技能検定協会編 「サービス接遇検定受験ガイド3級」				

1	課 程	商業実務専門課程	5	科 目 名	秘書	
2	学 科	ホテル観光科	6	科 目 番 号	13	
3	授 業 時 数	16時間	7	期	後期	
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	鳥井 恵子	9	授 業 形 態	講義
		資 格	秘書1年以上		所 属	
		実 務 経 験	講師歴10年以上			
11	教 科 書			—		
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等			—		
13	科 目 の 概 要	テキスト、過去問題や等を通して、求められる5つ領域(サービススタッフの資質、専門知識、一般知識、対人技能、実技技能)について学習し、よいサービスを提供する力と検定に合格する力を養う。				
14	科 目 の 到 達 目 標	サービス接客実務について理解し、現場でより高度なサービスを行うのに必要な心構え、知識、技能を身につける。 秘書検定2、3級合格を目的とする。				
15	科 目 の 必 須 条 件	成績は、検定試験、出席率、授業態度、学習意欲、提出課題等を総合して評価する。 (出席率、授業態度、学習意欲、提出課題) 授業態度とは、授業参加の状態(発表、模擬試験、板書写し、課題提出等)と授業不参加の状態(携帯電話・スマートフォンの使用、私語、居眠り他)のこと				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意すること。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かろうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)				
17	講 義 の スケジュール	①	秘書検定過去問題①			
		②	秘書検定過去問題②			
		③	秘書検定過去問題③			
		④	秘書検定過去問題④			
		⑤	秘書検定過去問題⑤			
		⑥	秘書検定過去問題⑥			
		⑦	秘書検定過去問題⑦			
		⑧	模擬検定受験			
18	参 考 書	実務技能検定協会編「サービス接客検定受験ガイド3級」				

1	課 程	商業実務専門	5	科 目 名	英語コミュニケーション	
2	学 科	建築・ホテル観光・医療秘書・健康スポーツ・こども保育・グローバルコミュニケーション	6	科 目 番 号	14	
3	授 業 時 数	40	7	期	前期	
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	河邊 平八郎	9	授 業 形 態	演習
		資 格			所 属	
		実 務 経 験	英会話講師5年以上			
11	教 科 書	ホテル英会話 I -基礎編				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	—				
13	科 目 の 概 要	基礎的な英会話の学習。(挨拶・自己紹介・日常英会話・ホテル英会話基礎)				
14	科 目 の 到 達 目 標	①英語(英会話)に関する関心度の向上を目指す。 ②クラスの仲間と助け合いながら、英会話を身に付ける。 ③中級レベルの学習に向けての自信を培う。				
15	科 目 の 必 須 条 件	成績は、試験、出席率、態度、学習意欲、提出課題等を総合して評価する。成績が60点より低い場合、原則として科目は不合格とみなされる。しかし、再試験もしくは再々試験の結果が成績を授与するに十分とみなされれば単位が認定される。出席率が66.67%より低い場合、いかなる状況下でも単位は認められない。				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意すること。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かろうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)				
17	講 義 の スケジュール	①	オリエンテーション:自己紹介			
		②	A:ビジネスに多く出てくる言葉 B:挨拶から学校での会話 C・D:発音について E:英語で遊ぶZOO			
		③	A:ビジネスに出てくる慣用句 B:家で使う会話 C・D:挨拶 E:英語で遊ぶZOO			
		④	A:ビジネスに出てくる受けこたえ B:友達と遊びに行くときの会話 C・D:買い物 E:英語で遊ぶZOO			
		⑤	A:ビジネスに出てくる質問 B:買い物でのやり取り C・D:旅行 E:英語で挨拶をしてみよう!			
		⑥	A:セールスや契約に出てくる会話 B:質問の仕方 C・D:家族との会話 E:英語で自己紹介			
		⑦	A:政治的な言葉 B~E:好きな歌を英語で歌おう			
		⑧	A:政治的な慣用句など B~E:好きな歌で英語を歌おう			
18	参 考 書					

1	課 程	商業実務専門課程	5	科 目 名	英語コミュニケーション I B	
2	学 科	ホテル観光科	6	科 目 番 号	14	
3	授 業 時 数	40	7	期	後期	
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	河邊 平八郎	9	授 業 形 態	演習
		資 格			所 属	
		実 務 経 験	英会話講師5年以上			
11	教 科 書	ホテル英会話 I -基礎編				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等				-	
13	科 目 の 概 要	基礎的な英会話の学習。(挨拶・自己紹介・日常英会話・ホテル英会話基礎)				
14	科 目 の 到 達 目 標	①英語(英会話)に関する関心度の向上を目指す。 ②クラスの仲間と助け合いながら、英会話を身に付ける。 ③中級レベルの学習に向けての自信を培う。				
15	科 目 の 必 須 条 件	成績は、試験、出席率、態度、学習意欲、提出課題等を総合して評価する。成績が60点より低い場合、原則として科目は不合格とみなされる。しかし、再試験もしくは再々試験の結果が成績を授与するに十分とみなされれば単位が認定される。出席率が66.67%より低い場合、いかなる状況下でも単位は認められない。				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意すること。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かるうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)				
17	講 義 の スケジュール	①	Lesson1 Greetings			
		②	Lesson1 Greetings			
		③	Lesson2 Polite Expressions			
		④	Lesson2 Polite Expressions			
		⑤	Lesson2 Polite Expressions			
		⑥	Lesson3 Expressing Thanks and Apology			
		⑦	Lesson3 Expressing Thanks and Apology			
		⑧	Lesson3 Expressing Thanks and Apology			
		⑨	Lesson3 Expressing Thanks and Apology			
		⑩	lessson4 Exoressing Numbers			
		⑪	lessson4 Exoressing Numbers			
		⑫	lessson4 Exoressing Numbers			
18	参 考 書					

1	課 程	商業実務専門課程	5	科 目 名	セールスプロモーション I	
2	学 科	ホテル観光科	6	科 目 番 号	20	
3	授 業 時 数	20時間	7	期	前期	
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	松島 雄一郎	9	授 業 形 態	演習
		資 格			所 属	
		実 務 経 験	保険代理店経営5年以上			
11	教 科 書	接客テキスト				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等					
13	科 目 の 概 要	接客をメインに「仕事」の基礎を学び、ケーススタディや一般常識を身に付け、接客ノウハウを学習する。				
14	科 目 の 到 達 目 標	接客の基本を学び、接客業に就いた際に基本的接客ができるようになる。				
15	科 目 の 必 須 条 件	成績は、試験、出席率、態度、学習意欲を総合して評価する。成績が60点より低い場合、原則として科目は不合格とみなされる。再試験もしくは再々試験の結果が成績を授与するに十分とみなされれば単位が認定される。				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意すること。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かろうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)				
17	講 義 の スケジュール	①	教科概要説明・自己紹介			
		②	接客業には、どんな職業があるかを知り、特徴を覚える。			
		③	接客業のお客様満足向上についての方法を知る。			
		④	真の接客をめざすための、知識を得る。			
		⑤	就業するにあたり最低限マナーの習得が必要である。			
		⑥	接客をするうえで好印象を持たれるメリットと方法			
		⑦	接客業の言葉遣いについて学ぼう			
		⑧	接客業が大切にしている感じの良い話し方聞き方			
		⑨	接客業におけるプレゼンテーションの方法について			
		⑩	前期まとめ			
18	参 考 書					

1	課	程	商業実務専門課程	5	科	目	名	セールスプロモーションⅡ										
2	学	科	ホテル観光科	6	科	目	番	号										
3	授	業	時	数	20時間	7	期	後期										
4	開	講	学	年	1年	8	選	択										
							・	必										
							修	必修										
10	担	当	氏	名	松島 雄一郎	9	授	業	形	態	演習							
			資	格		所	属											
			実	務	経	験	保	険	代	理	店	経	営	5	年	以	上	
11	教	科	書	接客テキスト														
12	関	連	資	格	・	検	定	等										
13	科	目	の	概	要	接客をメインに「仕事」の基礎を学び、ケーススタディや一般常識を身に付け、接客ノウハウを学習する。												
14	科	目	の	到	達	目	標	接客の基本を学び、接客業に就いた際に基本的接客ができるようになる。										
15	科	目	の	必	須	条	件	成績は、試験、出席率、態度、学習意欲を総合して評価する。成績が60点より低い場合、原則として科目は不合格とみなされる。再試験もしくは再々試験の結果が成績を授与するに十分とみなされれば単位が認定される。										
16	成	績	評	価	お	よ	び	評	価	基	準							
											成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意すること。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かろうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)							
17	講	義	の	ス	ケ	ジ	ュ	ー	ル	の	ス	ケ	ジ	ュ	ー	ル	①	接客業界を分析してみよう
																	②	接客対応の基礎について理解を深めよう
																	③	お客様の立場になったセールストークとは
																	④	気持ちよくなる電話対応
																	⑤	ユニバーサル・サービス
																	⑥	クレーム対応①直接の場合
																	⑦	クレーム対応②電話の場合
																	⑧	接客関連知識について
																	⑨	今まで学んだことのプレゼンテーションについて
																	⑩	教科まとめ
18	参	考	書															

1	課 程	商業実務専門課程	5	科 目 名	会計基礎	
2	学 科	ホテル観光科	6	科 目 番 号	22	
3	授 業 時 数	20時間	7	期	前期	
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	開田 晋平	9	授 業 形 態	講義
		資 格			所 属	BrainSeed Inc.会社名ブレインシード株式会社代表
		実 務 経 験	職業訓練校講師5年以上			
11	教 科 書	イラスト&図解 イチパンやさしい簿記入門				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等					
13	科 目 の 概 要	社会通念上必要な経理業務の基礎を学ぶ。仕分けの基本を理解し会社でのお金の流れを学び、接客やホテル業での会計業務を理解し伝票処理を円滑に行うための基礎力をつける。勘定科目を理解し仕分けから決算書の完成までを理解する。				
14	科 目 の 到 達 目 標	仕分けのルールを理解し決算書の流れまでを理解できるようになる。				
15	科 目 の 必 須 条 件	成績は、試験、出席率、態度、学習意欲、提出課題等を総合して評価する。成績が60点より低い場合、原則として科目は不合格とみなされる。しかし、再試験もしくは再々試験の結果が成績を授与するに十分とみなされれば単位が認定される。出席率が66.67%より低い場合、いかなる状況下でも単位は認められない。				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意すること。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かろうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)				
17	講 義 の スケジュール	①	第1章 簿記がわかるようになるための基礎			
		②	第1章 簿記がわかるようになるための基礎			
		③	第2章 記録のルールと勘定科目			
		④	第2章 記録のルールと勘定科目			
		⑤	第3章 毎日の実務で使う簿記			
		⑥	第3章 毎日の実務で使う簿記			
		⑦	第4章 毎月の実務で使う簿記			
		⑧	第4章 毎月の実務で使う簿記			
		⑨	第5章 毎年の実務で使う簿記			
		⑩	第5章 毎年の実務で使う簿記			
18	参 考 書					

1	課 程	商業実務専門課程	5	科 目 名	ビジネス法務	
2	学 科	ホテル観光科	6	科 目 番 号	23	
3	授 業 時 数	20時間	7	期	後期	
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	開田 晋平	9	授 業 形 態	講義
		資 格			所 属	BrainSeed Inc.会社名ブレインシード株式会社代表
		実 務 経 験	職業訓練校講師5年以上			
11	教 科 書					
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等					
13	科 目 の 概 要	基礎となる法務知識について理解を深め就労での実務に役立てる				
14	科 目 の 到 達 目 標	ビジネス業界での法務知識を学ぶ				
15	科 目 の 必 須 条 件	成績は、試験、出席率、態度、学習意欲、提出課題等を総合して評価する。成績が60点より低い場合、原則として科目は不合格とみなされる。しかし、再試験もしくは再々試験の結果が成績を授与するに十分とみなされれば単位が認定される。出席率が66.67%より低い場合、いかなる状況下でも単位は認められない。				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意すること。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かろうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)				
17	講 義 の スケジュール	①	ビジネス業界での法務知識を学ぶ法務の法体系1			
		②	ビジネス業界での法務知識を学ぶ法務の法体系2			
		③	企業取引の法務			
		④	債権の管理と回収			
		⑤	企業財産の管理と法律			
		⑥	企業活動に関する法規制			
		⑦	ビジネスと犯罪			
		⑧	企業と会社のしくみ			
		⑨	企業と従業員の関係			
		⑩	ビジネスに関する家族法			
18	参 考 書					

1	課 程	商業実務専門課程	5	科 目 名	マーケティング・ブランド戦略	
2	学 科	ホテル観光科	6	科 目 番 号	26	
3	授 業 時 数	18時間	7	期	後期	
4	開 講 学 年	2学年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	横山 純一郎	9	授 業 形 態	演習
		資 格			所 属	
		実 務 経 験				
11	教 科 書	オリジナル テキスト				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等					
13	科 目 の 概 要	現代の経済を理解する為、過去から現代を振り返りビジネスを追求していく。				
14	科 目 の 到 達 目 標	消費・欲望・マーケティングについて理解すること。				
15	科 目 の 必 須 条 件	①あらゆることに興味をもち、好奇心を持ち続けること。②講義で理解できなかった事やもう少し詳しく知りたいことは質問し聞くこと。③礼儀・挨拶をきちんとやる。④講義の準備と後片づけを積極的に協力して実施。				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意すること。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かるうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)				
17	講 義 の スケジュール	①	自己紹介。ファッションと経済。五感を大事にいつまでも好奇心を持つこと。販売は物を売るのではなく自分を売る。ホテルも同じ 気配りを売りながらお客を知る。JAPANとは？葛飾北斎の眼。現代のトレンドはカワイイからナチュラルへ。			
		②	1920年代ジャズエイジ。第一次世界大戦後 女性の進出がシャネルブームを作る。ファッションとスタイルの違い。2001年～2019年迄の現代トレンドと経済の動向。キーワードはスタイル・リミックス。M&Aによるブランド構築。			
		③	1950年代の大量生産・大量消費が何故アメリカから始まる。1960年代 大勢の若者が世界を動かす。スウィング・ロンドン、ビートルズ、ミニスカート、ROCK。アメリカ西海岸 ヒッピーの会話からアップルが誕生。GAFAの源は。			
		④	70年代ロンドン BIBA ロマンチック ベトナム戦争からサイケ、ドラッグ文化。80年代 米 アンディーウオホールPOP化。黒人アーティスト・バスキア ロンドン レイ・ベトリによるストリート・ファッション ベルリンの壁 天安門広場。			
		⑤	90年代リミックス コラボ アテチュード 川久保玲 コムデギャルソンの精神的自立 バブル崩壊 低成長時代 リーマンショック 情報の氾濫 サブカルの大台頭 現代のブランド・ビジネス			
		⑥	欲望の経済学 大航海 東インド会社・産業革命から始まった欲望の世界はどこに向かおうとしているのか？日本は、産業革命から、どう影響を受け、明治・戦前・戦後の政治と経済等にどのような光と影をもたらしたのか。日本のサブカルまとめ。			
		⑦	身近なマーケティング論 安売りしないで低価格競争から抜け出す コンシューマ・スキルと文化論 女性マーケット グループ討議 安売りの問題点 商品より会社や人を売る スタッフの人材育成 ライフスタイルブランドとは。			
		⑧	資本論 国民の教育 市場経済(ケインズ～ウェーバー～新自由主義) B/S P/Lの見方と財務分析			
		⑨	ケーススターディ グループ討議 YMCA今後 新貨幣論 2.0価値革命 自由と平等 憲法『みんなの資本論』			
		⑩	最後の授業 まとめ 世界は誰の者か。ブランド力 シャネルの生き方 会社は誰の者か 物の価値『クレイジーシャネル』			
18	参 考 書	国民の教育 渡部昇一 憲法学 小室直樹 サバイバル経営学 阪口大和 経済学 ポール・サミュエルソン 20世紀ファッション 文化服装学園 プロテスタンティズムの経済と資本主義の精神 マックスウェーバー 戦後経済史 野口悠紀雄 日本サブカル 宮澤章夫				

1	課 程	商業実務課程	5	科 目 名	コンピューター演習 I	
2	学 科	ホテル観光科	6	科 目 番 号	27	
3	授 業 時 数	60時間	7	期	前期	
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	山本裕美	9	授 業 形 態	演習
		資 格	コンピューターサービス技能評価試験ワープロ/表計算2級 Microsoft office Word/Excel サーティファイ PowerPoint 上級 サーティファイ ホームページ作成			
		実 務 経 験	大学情報処理非常勤講師 9年 熊日、RKKカルチャーセンター、各自治体公民館、自立支援、職業訓練センター、障害者支援施設 講師			
11	教 科 書	日経BP社 情報活用 ワープロ、表計算				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	日本情報処理検定協会 日本語ワープロ検定試験、情報処理技能検定試験 P検定協会 P検定3級				
13	科 目 の 概 要	全30コマでWord機能を使いこなしたワープロ文書作成技術と同時に表計算技術を習得し、効果的な事務処理能力を身につける。				
14	科 目 の 到 達 目 標	それぞれのソフトの機能を使い分け適応した文書作成ができ、表計算技術で速やかに効率よく事務処理ができる能力を身につけてほしい。				
15	科 目 の 必 須 条 件	成績は、資格試験受験または定期試験、出席率、平常点(態度、学習意欲)、提出課題等を総合して評価する。成績が60点より低い場合、原則として科目は不合格とみなされる。授業内で作成する課題及び、指定された課題作成で40%の評価、資格試験、定期試験より40%、平常点10%、出席点10% 出席率が66.67%より低い場合、いかなる状況下でも単位は認められない。				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意する。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かろうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)				
17	講 義 の スケジュール	①	Windows10基礎 操作演習 データ取得管理			
		②	Word2019画面構成 基本操作 入力方法 コマンド操作			
		③	文書作成基本手順 ビジネス文書作成			
		④	レポート・報告書文書作成 印刷			
		⑤	表作成 表を入れた文書作成			
		⑥	文書作成の総合演習			
		⑦	Excel2019画面構成 基本操作			
		⑧	表データの計算式 相対参照・絶対参照			
		⑨	見やすい表作成 表示形式			
		⑩	関数			
			グラフ作成の基本 画面構成 目的に応じたグラフ作成と手順			
			表作成からグラフ作成する練習問題			
			Word 級別試験対策 ⑱⑳㉑㉒			
			Excel 級別試験対策 ㉓㉔㉕㉖			
	総合復習 ㉗㉘㉙㉚					
18	参 考 書	日本情報処理検定協会出版 日本語ワープロ検定試験模擬問題集、情報処理技能検定試験模擬問題集 日本情報処理検定協会ホームページ 過去問題 P検協会発行 「P検」3級テキスト				

1	課 程	商業実務課程	5	科 目 名	コンピューター演習Ⅱ	
2	学 科	ホテル観光科	6	科 目 番 号	28	
3	授 業 時 数	30時間	7	期	通期	
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	山本裕美	9	授 業 形 態	演習
		資 格	コンピューターサービス技能評価試験ワープロ/表計算2級 Microsoft office Word/Excel サーティファイ PowerPoint 上級 サーティファイ ホームページ作成		所 属	
		実 務 経 験	大学情報処理非常勤講師 9年 熊日、RKKカルチャーセンター、各自治体公民館、自立支援、職業訓練センター、障害者支援施設 講師			
11	教 科 書	日経BP社 情報活用 ワープロ、表計算				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	日本情報処理検定協会 日本語ワープロ検定試験、情報処理技能検定試験 P検定協会 P検定3級				
13	科 目 の 概 要	全30コマでWord機能を使いこなしたワープロ文書作成技術と同時に表計算技術を習得し、効果的な事務処理能力を身につける。				
14	科 目 の 到 達 目 標	それぞれのソフトの機能を使い分け適応した文書作成ができ、表計算技術で速やかに効率よく事務処理ができる能力を身につける。				
15	科 目 の 必 須 条 件	成績は、資格試験受験または定期試験、出席率、平常点(態度、学習意欲)、提出課題等を総合して評価する。成績が60点より低い場合、原則として科目は不合格とみなされる。授業内で作成する課題及び、指定された課題作成で40%の評価、資格試験、定期試験より40%、平常点10%、出席点10% 出席率が66.67%より低い場合、いかなる状況下でも単位は認められない。				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意する。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かろうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)				
17	講 義 の スケジュール	①	Word 差し込み印刷 宛名ラベル作成			
		②	Word 表作成活用(請求書) Word 図形作成(地図) Smart Art グラフ編集 テキストボックス			
		③	Word 既存データ利用 Excelデータ テーマ			
		④	Word 長文作成 スタイル 段組み アウトライン 検索 置換 長文編集 文書の保護 総合復習			
		⑤	Excel シートの操作 グラフ グラフ編集			
		⑥	Excel データベース データ抽出			
		⑦	Excel 複雑なデータの抽出 データベース関数			
		⑧	Excel ワークシート間の集計 集計作業の自動化 ピボット			
		⑨	総合復習①②			
		⑩	P検 対策 Word部門			
			P検 対策 Excel部門			
			P検 試験対策 ①②			
			Word 級別試験対策			
	Excel 級別試験対策					
	総合復習					
18	参 考 書	日本情報処理検定協会出版 日本語ワープロ検定試験模擬問題集、情報処理技能検定試験模擬問題集 日本情報処理検定協会ホームページ 過去問題 P検協会発行 「P検」3級テキスト				

1	課 程	商業実務専門課程	5	科 目 名	旅行地理 I	
2	学 科	ホテル観光科	6	科 目 番 号	33	
3	授 業 時 数	20時間	7	期	前期	
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	那須 信明	9	授 業 形 態	講義
		資 格			所 属	
		実 務 経 験	全日空ホテルズ熊本ニュースカイホテル。営業・企画担当として20年勤務 熊本YMCA学園でホテル観光学科・マーケティング講師として5年以上			
11	教 科 書	すぐに役立つ国内旅行地理ベーシック+α/サブテキスト 国内観光地理サブノート				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等					
13	科 目 の 概 要	ホテル・観光業携わる際に、知っておくべきベスト300をピックアップし重点的に学ぶ。				
14	科 目 の 到 達 目 標	国内の最低限覚えるべき地理と観光地、温泉、祭り、遺跡遺産などをしっかりと覚えておくことができる。				
15	科 目 の 必 須 条 件	成績は、資格試験受験または定期試験、出席率、平常点(態度、学習意欲)、提出課題等を総合して評価する。成績が60点より低い場合、原則として科目は不合格とみなされる。定期試験より90%、意欲・出席点10%出席率が66.67%より低い場合、いかなる状況下でも単位は認められない。				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意する。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かろうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)				
17	講 義 の スケジュール	①	パート1 温泉/山・高原・溪谷/島・半島			
		②	パート1 海岸・岬/湖・川・滝・鍾乳洞			
		③	パート1 寺社・城跡/主な観光地			
		④	パート2 北海道/東北			
		⑤	パート2 関東/中部/関西			
		⑥	パート2 中国・四国/九州 沖縄			
		⑦	パート3 北海道/東北/関東			
		⑧	パート3 中部/関西/中国・四国			
		⑨	パート3 九州・沖縄			
		⑩	総集編			
18	参 考 書					

1	課 程	商業実務専門課程	5	科 目 名	旅行地理Ⅱ	
2	学 科	ホテル観光科	6	科 目 番 号	34	
3	授 業 時 数	20時間	7	期	後期	
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	那須 信明	9	授 業 形 態	講義
		資 格			所 属	
		実 務 経 験	全日空ホテルズ熊本ニュースカイホテル。営業・企画担当として20年勤務 熊本YMCA学園でホテル観光学科・マーケティング講師として5年以上			
11	教 科 書	すぐに役立つ国内旅行地理ベーシック+α / サブテキスト 国内観光地理サブノート				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等					
13	科 目 の 概 要	ホテル・観光業携わる際に、知っておくべきベスト300をピックアップし重点的に学ぶ。				
14	科 目 の 到 達 目 標	国内の最低限覚えるべき地理と観光地、温泉、祭り、遺跡遺産などをしっかりと覚えておく。				
15	科 目 の 必 須 条 件	成績は、資格試験受験または定期試験、出席率、平常点(態度、学習意欲)、提出課題等を総合して評価する。成績が60点より低い場合、原則として科目は不合格とみなされる。定期試験より90%、意欲・出席点10%出席率が66.67%より低い場合、いかなる状況下でも単位は認められない。				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意する。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かろうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)				
17	講 義 の スケジュール	①	国際情勢			
		②	紛争と領土問題			
		③	社会			
		④	産業・資源			
		⑤	自然・地理			
		⑥	世界遺産			
		⑦	各国要覧			
		⑧	世界地図			
		⑨	領土問題			
		⑩	総合学習			
18	参 考 書					

1	課 程	商業実務専門課程	5	科 目 名	ホテルの基礎概論	
2	学 科	ホテル観光科	6	科 目 番 号	37	
3	授 業 時 数	20時間	7	期	前期	
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	渡邊 和馬	9	授 業 形 態	講義
		資 格			所 属	熊本YMCA
		実 務 経 験	ホテル勤務12年			
11	教 科 書	基礎から学ぶ ホテルの概論/ウィネット				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等					
13	科 目 の 概 要	ホテル業界を知り、初心者で学べる知識を身に着ける。また、ホテルのサービスやデザイン、マネジメントなどは時代と共に変化していきます。しかし人間にとって「ねる」「食べる」を安心安全に提供する事、また生活の中で人生の晴れ舞台や素敵な時間を提供する事、それがホテルです。その本質を学びましょう。				
14	科 目 の 到 達 目 標	ホテルの歴史的背景から現代にいたるまでの歴史から、ホテルの基礎的な知識の習得を目指します。その中で、ホテルの各部署ごとの知識や内容を確認し、ベースとなるホテルの内容を理解します。				
15	科 目 の 必 須 条 件	成績は、資格試験受験または定期試験、出席率、平常点(態度、学習意欲)、提出課題等を総合して評価する。成績が60点より低い場合、原則として科目は不合格とみなされる。定期試験より90%、意欲・出席点10%出席率が66.67%より低い場合、いかなる状況下でも単位は認められない。				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意する。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かりうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)				
17	講 義 の スケジュール	①	ホテルとは何か/ホテルの分類/ホテルの発達の歴史			
		②	ホテル産業の特徴/ホテル内での様々な職種・組織			
		③	宿泊部門の基礎知識			
		④	料飲部門の基礎知識			
		⑤	宴会の基礎知識			
		⑥	ホテルスタッフに求められる能力			
		⑦	ホテルを取り巻く環境			
		⑧	ホテルの社会的責任			
		⑨	これからのホテル			
		⑩	まとめ			
18	参 考 書					

1	課 程	商業実務専門課程	5	科 目 名	ホテル関連業務総論	
2	学 科	ホテル観光科	6	科 目 番 号	38	
3	授 業 時 数	20時間	7	期	後期	
4	開 講 学 年	2年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	吉田 賢治郎	9	授 業 形 態	講義
		資 格			所 属	
		実 務 経 験	ホテル勤務20年以上			
11	教 科 書	料飲接客サービス技法				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等					
13	科 目 の 概 要	ホテル全般に関わる様々な知識を学ぶ				
14	科 目 の 到 達 目 標	ホテル関連知識を高め、施設管理や安全衛生を身に着ける				
15	科 目 の 必 須 条 件	成績は、資格試験受験または定期試験、出席率、平常点(態度、学習意欲)、提出課題等を総合して評価する。成績が60点より低い場合、原則として科目は不合格とみなされる。授業内で作成する課題及び、指定された課題作成で40%の評価、資格試験、定期試験より90%、平常点5%、出席点5% 出席率が66.67%より低い場合、いかなる状況下でも単位は認められない。				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意する。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かるうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)				
17	講 義 の スケジュール	①	予約解約/メニュー管理/料理・食品当の異常/救護/マナー			
		②	食事の国際習慣			
		③	食文化史と現状の食環境/食文化と食事作法/西洋料理の変遷			
		④	施設の知識/防災/設備の維持管理			
		⑤	料飲サービスにおける不満苦情/好ましくないお客様対応/遺失物の取扱い			
		⑥	食品衛生			
		⑦	公衆衛生/食品衛生			
		⑧	安全衛生/危険有害性			
		⑨	労働安全衛生に関する法令			
		⑩	総復習			
18	参 考 書					

1	課	程	商業実務専門課程	5	科	目	名	フロント・サービス					
2	学	科	ホテル観光科	6	科	目	番	号					
3	授	業	時	数	20時間	7	期	前期					
4	開	講	学	年	1年	8	選	択・必					
							修	必修					
10	担	当	氏	名	角田 吉顕	9	授	業	形	態	講義		
			資	格		所	属	熊本YMCA					
			実	務	経	験	ホテル勤務20年以上						
11	教	科	書	フロント・サービス/ウイネット									
12	関	連	資	格・検	定等								
13	科	目	の	概	要	宿泊部門の基礎知識を学ぶ。							
14	科	目	の	到	達	目	標	フロントサービス業務の流れと知識、技術を身につけ実践できるようになる。					
15	科	目	の	必	須	条	件	成績は、資格試験受験または定期試験、出席率、平常点(態度、学習意欲)、提出課題等を総合して評価する。成績が60点より低い場合、原則として科目は不合格とみなされる。定期試験より90%、意欲・出席点10%出席率が66.67%より低い場合、いかなる状況下でも単位は認められない。					
16	成	績	評	価	お	よ	び	評	価	基	準		
											成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意する。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かるうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)		
17	講	義	の	ス	ケ	ジ	ュ	に	つ	い	て	①	宿泊部門の業務/ドアマン
												②	ベルマンについて
												③	クロークについて
												④	客室管理1
												⑤	客室管理2
												⑥	実践 ベッドメイキング
												⑦	実践 ベッドメイキング・ハウスクリーニング
												⑧	コンシェルジュについて
												⑨	実践 クローク
												⑩	実践 ロビー案内
18	参	考	書										

1	課 程	商業実務専門課程	5	科 目 名	フロント・オフィス	
2	学 科	ホテル観光科	6	科 目 番 号	40	
3	授 業 時 数	20時間	7	期	後期	
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	角田 吉顕	9	授 業 形 態	講義
		資 格			所 属	熊本ホテルキャッスル
		実 務 経 験	ホテル勤務20年以上			
11	教 科 書	フロント・オフィス/ウィネット				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等					
13	科 目 の 概 要	宿泊部門の知識を学ぶ。				
14	科 目 の 到 達 目 標	フロントオフィス業務の流れと知識、技術を身につけ実践できるようになる。				
15	科 目 の 必 須 条 件	成績は、資格試験受験または定期試験、出席率、平常点(態度、学習意欲)、提出課題等を総合して評価する。成績が60点より低い場合、原則として科目は不合格とみなされる。定期試験より90%、意欲・出席点10%出席率が66.67%より低い場合、いかなる状況下でも単位は認められない。				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意する。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かろうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)				
17	講 義 の スケジュール	①	フロント・オフィスとは			
		②	客室のタイプと料金			
		③	リザーベーション業務			
		④	リザーベーション業務			
		⑤	レセプション業務			
		⑥	フロント・オフィスとはキャッシー業務			
		⑦	インフォメーション業務			
		⑧	防犯業務			
		⑨	実務 各種ビル、管理表等			
		⑩	実務 各種計算処理			
18	参 考 書					

1	課 程	商業実務専門課程	5	科 目 名	宴会サービス I	
2	学 科	ホテル観光科	6	科 目 番 号	42	
3	授 業 時 数	20時間	7	期	前期	
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	渡邊 和馬	9	授 業 形 態	演習
		資 格			所 属	熊本YMCA
		実 務 経 験	ホテル勤務12年			
11	教 科 書	レストラン・宴会編/ウィネット				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等					
13	科 目 の 概 要	料飲部門の専門的知識を学び、お客様へスムーズなサービスを行う。無形のおもてなしを行うホスピタリティを養いお客様へ満足を提供できるように学ぶ。宿泊を伴わないレストランや宴会、プライダルをはじめとした各種宴会の手配・予約から実務までの一連を学ぶ。				
14	科 目 の 到 達 目 標	宴会部門の知識習得を行い、宴会部での基礎的な仕事ができる。				
15	科 目 の 必 須 条 件	成績は、資格試験受験または定期試験、出席率、平常点(態度、学習意欲)、提出課題等を総合して評価する。成績が60点より低い場合、原則として科目は不合格とみなされる。定期試験より90%、意欲・出席点10%出席率が66.67%より低い場合、いかなる状況下でも単位は認められない。				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意する。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かろうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)				
17	講 義 の スケジュール	①	料飲部門の概要/什器・食器・備品類の知識1			
		②	什器・食器・備品類の知識2			
		③	メニュー/西洋料理の基礎知識1			
		④	西洋料理の基礎知識2			
		⑤	西洋料理の基礎知識3			
		⑥	朝食の基礎知識			
		⑦	日本料理基礎知識			
		⑧	中国料理基礎知識			
		⑨	実践 什器類の取り扱い1			
		⑩	実践 什器類の取り扱い2			
18	参 考 書					

1	課 程	商業実務専門課程	5	科 目 名	宴会サービスⅡ	
2	学 科	ホテル観光科	6	科 目 番 号	43	
3	授 業 時 数	20時間	7	期	後期	
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	渡邊 和馬	9	授 業 形 態	演習
		資 格			所 属	熊本YMCA
		実 務 経 験	ホテル勤務12年			
11	教 科 書	基礎から学ぶ ホテルの概論/ウィネット				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等					
13	科 目 の 概 要	ホテル業界を知り、初心者で学べる知識を身に着ける。また、ホテルのサービスやデザイン、マネジメントなどは時代と共に変化していきます。しかし人間にとって「ねる」「食べる」を安心安全に提供をする事、また生活の中で人生の晴れ舞台や素敵な時間を提供する事、それがホテルです。その本質を学びましょう。				
14	科 目 の 到 達 目 標	宴会部門の知識の習得し、基礎から応用までできるようになる。				
15	科 目 の 必 須 条 件	成績は、資格試験受験または定期試験、出席率、平常点(態度、学習意欲)、提出課題等を総合して評価する。成績が60点より低い場合、原則として科目は不合格とみなされる。定期試験より90%、意欲・出席点10%出席率が66.67%より低い場合、いかなる状況下でも単位は認められない。				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意する。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かるうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)				
17	講 義 の スケジュール	①	宴会部門概要/宴会予約について			
		②	宴会サービス1			
		③	宴会サービス2			
		④	婚礼サービスと慶弔の知識1			
		⑤	婚礼サービスと慶弔の知識2			
		⑥	実践 結納について			
		⑦	実践 宴会プランニング1			
		⑧	実践 宴会プランニング2			
		⑨	実践 設営・サービス・片付け1			
		⑩	実践 設営・サービス・片付け2			
18	参 考 書					

1	課 程	商業実務専門課程	5	科 目 名	レストランサービス	
2	学 科	ホテル観光科	6	科 目 番 号	44	
3	授 業 時 数	20時間	7	期	前期	
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	吉田 賢治郎	9	授 業 形 態	演習
		資 格			所 属	
		実 務 経 験	ホテル勤務40年(支配人15年)			
11	教 科 書	レストラン・宴会編/ウイネット 料飲接客サービス技法				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等					
13	科 目 の 概 要	料飲サービスにおける基本動作、知識を学ぶ。HRS検定を意識した学びを行う。				
14	科 目 の 到 達 目 標	企業実習及びHRS検定に合格できるような実力を持つ。				
15	科 目 の 必 須 条 件	成績は、資格試験受験または定期試験、出席率、平常点(態度、学習意欲)、提出課題等を総合して評価する。成績が60点より低い場合、原則として科目は不合格とみなされる。定期試験より90%、意欲・出席点10%出席率が66.67%より低い場合、いかなる状況下でも単位は認められない。				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意する。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かろうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)				
17	講 義 の スケジュール	①	概要(P106)/手順/仕事の流れ①清掃②開店準備			
		②	③セッティング④ミーティング⑤迎賓			
		③	⑥オーダーテイキング⑦テーブルサービス			
		④	⑧会計⑨送賓⑩後片付け⑪翌日の準備/サービス時の注意点			
		⑤	ルームサービス(P156)/レストラン運営の基本(P160) オペレーションマニュアル			
		⑥	原価管理/F&Bコストコントローラー			
		⑦	実技 サービス技術(P138) 什器・備品類の取り扱い/①リネン類の扱い②サービストレイの扱い			
		⑧	実技 ③シルパーウェアの扱い方④グラスウェアの扱い方⑤チャイナウェアの扱い方			
		⑨	実技			
		⑩	実技			
18	参 考 書					

1	課 程	商業実務専門課程	5	科 目 名	フード概論	
2	学 科	ホテル観光科	6	科 目 番 号	48	
3	授 業 時 数	20時間	7	期	後期	
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	戸澤 清水	9	授 業 形 態	講義
		資 格			所 属	株式会社ニュースカイホテル
		実 務 経 験	料理師20年以上			
11	教 科 書	料理メニューの基礎				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等					
13	科 目 の 概 要	「食」は時代と共に変化していきます。しかし人間にとって「ねる」「食べる」を安心安全に提供をする事、また生活の中で人生の晴れ舞台や素敵な時間を提供する大切な食べ物について学ぶ。				
14	科 目 の 到 達 目 標	フード知識の習得し、料理の説明ができる。				
15	科 目 の 必 須 条 件	成績は、資格試験受験または定期試験、出席率、平常点(態度、学習意欲)、提出課題等を総合して評価する。成績が60点より低い場合、原則として科目は不合格とみなされる。定期試験より90%、意欲・出席点10%出席率が66.67%より低い場合、いかなる状況下でも単位は認められない。				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意する。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かろうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)				
17	講 義 の スケジュール	①	メニューとは			
		②	フランス料理①			
		③	フランス料理②			
		④	イタリア料理について			
		⑤	日本料理について			
		⑥	中国料理について			
		⑦	各国料理/朝食について			
		⑧	メニューのプランニングについての考え方			
		⑨	ソース・食材研究について			
		⑩	朝食研究			
18	参 考 書					

1	課 程	商業実務専門課程	5	科 目 名	HRS実践講座 I	
2	学 科	ホテル観光科	6	科 目 番 号	49	
3	授 業 時 数	16時間	7	期	前期	
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	西本 太	9	授 業 形 態	講義
		資 格			所 属	KKRホテル熊本
		実 務 経 験	ホテル勤務5年以上			
11	教 科 書					
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等					
13	科 目 の 概 要	国家資格であるホテルレストランサービス検定の料飲接客技能を学ぶ				
14	科 目 の 到 達 目 標	HRS検定に合格すること				
15	科 目 の 必 須 条 件	成績は、資格試験受験または定期試験、出席率、平常点(態度、学習意欲)、提出課題等を総合して評価する。成績が60点より低い場合、原則として科目は不合格とみなされる。定期試験より90%、意欲・出席点10%出席率が66.67%より低い場合、いかなる状況下でも単位は認められない。				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意する。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: karouじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)				
17	講 義 の スケジュール	①	第1章 第1節 食品			
		②	第4節 料飲の種類および特徴			
		③	料飲の種類および特徴			
		④	料飲の種類および特徴			
		⑤	第6節 西洋料理の食事道具・備品			
		⑥	第3章 第2節 レストラン			
		⑦	第3節 客席案内			
		⑧	第4節 注文			
18	参 考 書					

1	課 程	商業実務専門課程	5	科 目 名	ホテル実務技能検定対策講座	
2	学 科	ホテル観光科	6	科 目 番 号	53	
3	授 業 時 数	20時間	7	期	後期	
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	渡邊 和馬	9	授 業 形 態	講義
		資 格			所 属	熊本YMCA
		実 務 経 験	ホテル勤務12年			
11	教 科 書	ホテル実務技能認定試験初級問題集/サーティファイ				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等					
13	科 目 の 概 要	ホテルスタッフとしての見出しなみ、言葉遣い、接客マナー、職場マナー、英会話、簡単外国語などの基本知識を有する。料飲・宿泊業務及びサービスに関する基本的内容を理解する。				
14	科 目 の 到 達 目 標	ホテル実務技能検定資格取得。				
15	科 目 の 必 須 条 件	ホテル実務技能認定試験初級合格				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意すること。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かるうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)				
17	講 義 の スケジュール	①	試験概要/料飲部門・宿泊部門のポイント解説			
		②	接遇分野について			
		③	料飲分野について			
		④	宿泊分野について			
		⑤	その他のホテル関連分野について			
		⑥	過去問題挑戦と解説			
		⑦	過去問題①			
		⑧	過去問題①			
		⑨	過去問題①			
		⑩	検定直前対策			
18	参 考 書					

1	課 程	商業実務専門課程	5	科 目 名	ブライダル I	
2	学 科	ホテル観光科	6	科 目 番 号	54	
3	授 業 時 数	20時間	7	期	前期	
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	淵脇 勇二	9	授 業 形 態	講義
		資 格	BIA認定ブライダルコーディネーター	所 属	ホテル日航熊本	
		実 務 経 験	セラトングランドオーシャンリゾート7年勤務・ホテル日航熊本20年勤務(ブライダル15年)			
11	教 科 書	ブライダル総論				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等					
13	科 目 の 概 要	ブライダル業界、産業を理解し婚礼のノウハウを学ぶ。また、宗教や自分たちらしさそしてニーズなどを理解し、プロデュースできるノウハウを学ぶ。				
14	科 目 の 到 達 目 標	ブライダルの基礎知識の習得を目指す。				
15	科 目 の 必 須 条 件	成績は、資格試験受験または定期試験、出席率、平常点(態度、学習意欲)、提出課題等を総合して評価する。成績が60点より低い場合、原則として科目は不合格とみなされる。定期試験より90%、意欲・出席点10%出席率が66.67%より低い場合、いかなる状況下でも単位は認められない。				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意する。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: karouじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)				
17	講 義 の スケジュール	①	ブライダルとは			
		②	ブライダル産業とは			
		③	婚礼の歴史			
		④	世界の結婚事情			
		⑤	世界各国の婚礼			
		⑥	日本の習慣・由来1			
		⑦	日本の習慣・由来2			
		⑧	西洋の習慣1			
		⑨	西洋の習慣2			
		⑩	課題学習			
18	参 考 書					

1	課 程	商業実務専門課程	5	科 目 名	ブライダルⅡ	
2	学 科	ホテル観光科	6	科 目 番 号	55	
3	授 業 時 数	20時間	7	期	後期	
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	淵脇 勇二	9	授 業 形 態	講義
		資 格	BIA認定ブライダルコーディネーター	所 属	ホテル日航熊本	
		実 務 経 験	セラトングランドオーシャンリゾート7年勤務・ホテル日航熊本20年勤務(ブライダル15年)			
11	教 科 書	ブライダル総論				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等					
13	科 目 の 概 要	ブライダル業界、産業を理解し婚礼のノウハウを学ぶ。また、宗教や自分たちらしさそしてニーズなどを理解し、プロデュースできるノウハウを学ぶ。				
14	科 目 の 到 達 目 標	ブライダルの基礎をベースに、応用してブライダルの実施ができる知識を身に着けます。また、その知識をもって実習と模擬披露宴や挙式に取組みます。				
15	科 目 の 必 須 条 件	成績は、資格試験受験または定期試験、出席率、平常点(態度、学習意欲)、提出課題等を総合して評価する。成績が60点より低い場合、原則として科目は不合格とみなされる。定期試験より90%、意欲・出席点10%出席率が66.67%より低い場合、いかなる状況下でも単位は認められない。				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意する。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かろうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)				
17	講 義 の スケジュール	①	婚礼の種類			
		②	挙式のスタイル1			
		③	挙式のスタイル2			
		④	披露宴のスタイル			
		⑤	地域による特性			
		⑥	婚礼部門の組織			
		⑦	スタッフの役割			
		⑧	葬儀・法事とは			
		⑨	仏式葬儀の進行とマナー			
		⑩	課題学習			
18	参 考 書					

1	課 程	商業実務専門課程	5	科 目 名	就職対策Ⅱ	
2	学 科	ホテル観光科	6	科 目 番 号	7	
3	授 業 時 間 数	20時間	7	期	後期	
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	渡邊 和馬		9 授 業 形 態	講義
		資 格	—		所 属	熊本YMCA
		実 務 経 験	ホテル勤務12年			
11	教 科 書	ビジネス能力検定ジョブパス3級				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	—				
13	科 目 の 概 要	就職を目指す業界研究、業種の理解と就職活動を始める前の自己理解や他者理解を行い、本格的な就職活動に向けて自らの職業観や適性について学びを深める。				
14	科 目 の 到 達 目 標	当年度の3月に解禁される就職活動に向けた就職対策の授業である。この授業を受けることで自己理解から就職に必要な知識や履歴書、エントリーシートの書き方などを学ぶ。そして実際の面接練習やアフターフォローまでおこなう。				
15	科 目 の 必 須 条 件	-				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意すること。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かろうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)				
17	講 義 の スケジュール	①	訪問企業調査Ⅰ			
		②	訪問企業調査Ⅱ			
		③	指示の受け方と報告、連絡・相談			
		④	話し方と聞き方のポイント			
		⑤	業界研究			
		⑥	業界調査(企業講話①)			
		⑦	業界調査(企業講話①)			
		⑧	自己分析			
		⑨	実習先調査Ⅰ			
		⑩	実習先調査Ⅱ			
		⑪	アポイントの取り方			
		⑫	電話ロールプレイング			
		⑬	訪問練習			
		⑭	実習ノート制作			
		⑮	最終確認			
18	参 考 書					

1	課 程	商業実務専門課程	5	科目名	ビジネスマナーⅡ	
2	学 科	ホテル観光科	6	科目番号	10	
3	授 業 時 間 数	20時間	7	期	後期	
4	開 講 学 年	2年	8	選択・必修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	上村 眞智子	9	授 業 形 態	講義、アクティブラーニング（ロールプレイ、グループワーク、グループディスカッションなど）
		資 格	・国家資格キャリアコンサルタント ・国家資格2級キャリアコンサルタント技能士 ・アンガーマネジメントコンサルタント ・ダイバーシティコミュニケーションインストラクター ・教員免許(英語)高校2級、中学1級		所 属	キャリアデザイン工房有限公司 オフィスUEMURA
		実務経験	ビジネスマナー講師32年			
11	教 科 書	実社会で求められるビジネスマナー				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等					
13	科 目 の 概 要	いろいろな場面における対応を講義形式とロールプレイ形式で学ぶことにより、対人関係の大切さを感じ習得してもらう内容です。自己分析、自己理解作業と、今までのキャリアのたな卸し作業を通して自分の宝物に気付いて貰い、自分にとって適職とは何かを考えます。				
14	科 目 の 到 達 目 標	社会人として必要なマナーを身に付け、いろいろな世代の方々としっかりとした人間関係を築ける常識のある人間、かつ自分の思っていることを相手にきちんと理解してもらえるコミュニケーション能力が高い人の育成を目的としています。そして何よりも自分自身をよく理解し、キャリアビジョンが描ける人材育成を目的とします。				
15	科 目 の 必 須 条 件	<ul style="list-style-type: none"> ・着た服に注意（髪型、化粧、アクセサリー、靴など） ・配布するプリント類はきちんとファイルすること ・積極的な授業参加（教科書とノート、筆記用具は必ず持参） ・学生50%・社会人50%としての意識付け ・3つのS(Smile・Smart・Speedy)の理解 				
16	成績評価および評価基準	<p>成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意すること。</p> <p>A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80)</p> <p>B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70)</p> <p>C: ちょうど認められる点数で科目に合格した。(69-60)</p> <p>D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)</p>				
17	講義のスケジュール	①	対応の重要性、対応のしかた、基本動作練習、こころよく迎える			
		②	普通礼の練習、相手・用件を確かめる、名刺のエピソード、名刺の扱い方			
		③	対応のいろいろ、案内をする、上座の位置			
		④	ドアの開閉、お茶の接待、お茶の選び方・入れ方			
		⑤	対応の言葉、お見送り、対応の練習			
		⑥	文書について、いろいろな文書、文書の作成と取り扱い			
		⑦	社外文書の形式、ビジネス文書用語、間違いさがし、文書の受発信			
		⑧	ファイリングはコツコツと、文具と用途、ものはためし			
		⑨	手紙の書き方、お礼状を書く、あて名の書き方(はがき)、あて名の書き方(長封筒)			
		⑩	数字の書き方、数字の練習、手紙についてのQ&A			
18	参 考 書					

1	課 程	商業実務専門課程	5	科目名	ビジネスマナーⅡ	
2	学 科	ホテル観光科	6	科目番号	11	
3	授 業 時 間 数	20時間	7	期	後期	
4	開 講 学 年	2年	8	選択・必修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	上村 眞智子	9	授 業 形 態	講義、アクティブラーニング（ロールプレイ、グループワーク、グループディスカッションなど）
		資 格	・国家資格キャリアコンサルタント ・国家資格2級キャリアコンサルタント 技能士 ・アンガーマネジメントコンサルタント ・ダイバーシティコミュニケーション インストラクター ・教員免許(英語)高校2級、中学1級		所 属	キャリアデザイン工房有限公司 オフィスUEMURA
		実務経験	ビジネスマナー講師32年			
11	教 科 書	実社会で求められるビジネスマナー				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等					
13	科 目 の 概 要	いろいろな場面における対応を講義形式とロールプレイ形式で学ぶことにより、対人関係の大切さを感じ習得してもらう内容です。 自己分析、自己理解作業と、今までのキャリアのたな卸し作業を通して自分の宝物に気付いて貰い、自分にとって適職とは何かを考えます。				
14	科 目 の 到 達 目 標	社会人として必要なマナーを身に付け、いろいろな世代の方々としっかりとした人間関係を築ける常識のある人間、かつ自分の思っていることを相手にきちんと理解してもらえるコミュニケーション能力が高い人の育成を目的としています。そして何よりも自分自身をよく理解し、キャリアビジョンが描ける人材育成を目的とします。				
15	科 目 の 必 須 条 件	<p>とつれどしに服装・髪型とする事、明るく大らかな声で返事をする事、授業中はシッカリと取る事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配布するプリント類はきちんとファイルすること ・積極的な授業参加(教科書とノート、筆記用具は必ず持参) ・学生50%・社会人50%としての意識付け ・3つのS(Smile・Smart・Speedy)の理解 				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意すること。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かろうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)				
17	講 義 の ス ケ ジ ュ ー ル	①	対応の重要性、対応のしかた、基本動作練習、こころよく迎える			
		②	普通礼の練習、相手・用件を確かめる、名刺のエピソード、名刺の扱い方			
		③	対応のいろいろ、案内をする、上座の位置			
		④	ドアの開閉、お茶の接待、お茶の選び方・入れ方			
		⑤	対応の言葉、お見送り、対応の練習			
		⑥	文書について、いろいろな文書、文書の作成と取り扱い			
		⑦	社外文書の形式、ビジネス文書用語、間違いさがし、文書の受発信			
		⑧	ファイリングはコツコツと、文具と用途、ものはためし			
		⑨	手紙の書き方、お礼状を書く、あて名の書き方(はがき)、あて名の書き方(長封筒)			
		⑩	数字の書き方、数字の練習、手紙についてのQ&A			
18	参 考 書					

1	課 程	商業実務課程	5	科 目 名	英語コミュニケーションⅢ	
2	学 科	ホテル観光科	6	科 目 番 号	16	
3	履 修 単 位	40時間	7	期	前期	
4	開 講 学 年	2学年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	田中 智子	9	授 業 形 態	講義
		資 格	英語検定1級 秘書検定1級 サービス接客検定1級 など	所 属	熊本大学就職課 (キャリアカウンセラー)	
		実 務 経 験	日本航空株式会社で国際客室乗務員5年 英会話ジオスで英会話講師5年 熊本YMCA学園で国際ビジネス科・国際ホテル科・英会話英検講師・マナー講師として25年以上			
11	教 科 書	日本ホテル教育センター「ホテル英会話Ⅰ 応用編」				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等					
13	科 目 の 概 要	ホテル・観光業での語学力は今後益々必要性を増します。インパウンドのお客様に対応できる様にワード、表現、リスニングをバランスよく身に着ける。				
14	科 目 の 到 達 目 標	確かな英語力と主体性、国内外のホテルで英語でのコミュニケーションをとれるレベルの会話のスキルを身につける。				
15	科 目 の 必 須 条 件	成績は、資格試験受験または定期試験、出席率、平常点(態度、学習意欲)、提出課題等を総合して評価する。成績が60点より低い場合、原則として科目は不合格とみなされる。定期試験より90%、意欲・出席点10%出席率が66.67%より低い場合、いかなる状況下でも単位は認められない。				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意する。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かろうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)				
17	講 義 の ス ケ ジ ュ ー ル	①	CHAPTER I ACCOMMODATION SERVICE Lesson1 Room Reservations			
		②	CHAPTER I ACCOMMODATION SERVICE Lesson1 Room Reservations			
		③	CHAPTER I ACCOMMODATION SERVICE Lesson1 Room Reservations			
		④	CHAPTER I ACCOMMODATION SERVICE Lesson1 Room Reservations			
		⑤	CHAPTER I ACCOMMODATION SERVICE Lesson2 Check-in			
		⑥	CHAPTER I ACCOMMODATION SERVICE Lesson2 Check-in			
		⑦	CHAPTER I ACCOMMODATION SERVICE Lesson2 Check-in			
		⑧	CHAPTER I ACCOMMODATION SERVICE Lesson2 Check-in			
		⑨	CHAPTER I ACCOMMODATION SERVICE Lesson3 Hotel Services			
		⑩	CHAPTER I ACCOMMODATION SERVICE Lesson3 Hotel Services			
		⑪	CHAPTER I ACCOMMODATION SERVICE Lesson3 Hotel Services			
		⑫	CHAPTER I ACCOMMODATION SERVICE Lesson3 Hotel Services			
		⑬	CHAPTER I ACCOMMODATION SERVICE Lesson4 Tour Information			
		⑭	CHAPTER I ACCOMMODATION SERVICE Lesson4 Tour Information			
		⑮	CHAPTER I ACCOMMODATION SERVICE Lesson4 Tour Information			
		⑯	CHAPTER I ACCOMMODATION SERVICE Lesson4 Tour Information			
		⑰	CHAPTER I ACCOMMODATION SERVICE Lesson5 Check-out			
		⑱	CHAPTER I ACCOMMODATION SERVICE Lesson5 Check-out			
		⑲	CHAPTER I ACCOMMODATION SERVICE Lesson5 Check-out			
		⑳	CHAPTER I ACCOMMODATION SERVICE Lesson5 Check-out			
18	参 考 書					

1	課 程	商業実務課程	5	科 目 名	英語コミュニケーションⅣ	
2	学 科	ホテル観光科	6	科 目 番 号	17	
3	履 修 単 位	40	7	期	後期	
4	開 講 学 年	2学年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	田中 智子	9	授 業 形 態	講義
		資 格			所 属	
		実 務 経 験	日本航空株式会社で国際客室乗務員5年 英会話ジオスで英会話講師5年 熊本YMCA学園で国際ビジネス科・国際ホテル科・英会話英検講師・マナー講師として25年以上			
11	教 科 書	日本ホテル教育センター「ホテル英会話Ⅰ 応用編」				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等					
13	科 目 の 概 要	ホテル・観光業での語学力は今後益々必要性を増します。インパウンドのお客様に対応できる様にワード、表現、リスニングをバランスよく身に着ける。				
14	科 目 の 到 達 目 標	確かな英語力と主体性、国内外のホテルで英語でのコミュニケーションをとれるレベルの会話のスキルを身につける。				
15	科 目 の 必 須 条 件	成績は、資格試験受験または定期試験、出席率、平常点(態度、学習意欲)、提出課題等を総合して評価する。成績が60点より低い場合、原則として科目は不合格とみなされる。定期試験より90%、意欲・出席点10%出席率が66.67%より低い場合、いかなる状況下でも単位は認められない。				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意する。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かろうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)				
17	講 義 の スケジュール	①	CHAPTER I ACCOMMODATION SERVICE Lesson6 Telephone & Paging			
		②	CHAPTER I ACCOMMODATION SERVICE Lesson6 Telephone & Paging			
		③	CHAPTER I ACCOMMODATION SERVICE Lesson6 Telephone & Paging			
		④	CHAPTER I ACCOMMODATION SERVICE Lesson6 Telephone & Paging			
		⑤	CHAPTER II RESTAURANT SERVICE lesson7 Rrestaurant			
		⑥	CHAPTER II RESTAURANT SERVICE lesson7 Rrestaurant			
		⑦	CHAPTER II RESTAURANT SERVICE lesson7 Rrestaurant			
		⑧	CHAPTER II RESTAURANT SERVICE lesson7 Rrestaurant			
		⑨	CHAPTER II RESTAURANT SERVICE lesson8 Bar & Cocktail Lounge			
		⑩	CHAPTER II RESTAURANT SERVICE lesson8 Bar & Cocktail Lounge			
		⑪	CHAPTER II RESTAURANT SERVICE lesson8 Bar & Cocktail Lounge			
		⑫	CHAPTER II RESTAURANT SERVICE lesson8 Bar & Cocktail Lounge			
		⑬	CHAPTER III COMPLAINS & EMERGENCES lesson9 Complaints			
		⑭	CHAPTER III COMPLAINS & EMERGENCES lesson9 Complaints			
		⑮	CHAPTER III COMPLAINS & EMERGENCES lesson9 Complaints			
		⑯	CHAPTER III COMPLAINS & EMERGENCES lesson9 Complaints			
		⑰	CHAPTER III COMPLAINS & EMERGENCES lesson10 Emergencies			
		⑱	CHAPTER III COMPLAINS & EMERGENCES lesson10 Emergencies			
		⑳	CHAPTER III COMPLAINS & EMERGENCES lesson10 Emergencies			
		18	参 考 書			

1	課	程	商業実務専門課程	5	科	目	名	中国語 I		
2	学	科	ホテル観光科	6	科	目	番	号		
3	履	修	単	位	20時間	7	期	前期		
4	開	講	学	年	2学年	8	選	択・必		
							修	必修		
10	担	当	氏	名	李 英	9	授	業		
			資	格			所	属		
			実	務	経	験	中国籍			
11	教	科	書	朝日出版社「ニーハオ！ニッポンーふりむけば、中国語」						
12	関	連	資	格・検	定等					
13	科	目	の	概	要			中国語の基礎を学ぶ		
14	科	目	の	到	達	目	標	簡単な中国語でのコミュニケーションをとれるレベルの会話のスキルを身につける。		
15	科	目	の	必	須	条	件	成績は、資格試験受験または定期試験、出席率、平常点(態度、学習意欲)、提出課題等を総合して評価する。成績が60点より低い場合、原則として科目は不合格とみなされる。定期試験より90%、意欲・出席点10%出席率が66.67%より低い場合、いかなる状況下でも単位は認められない。		
16	成	績	評	価	お	よ	び	評		
								価		
								準		
								准		
								准		
								准		
								准		
17	講	義	の	ス	ケ	ジ	ュ	ー	①	第1課 声調・短母音・複母音
									②	第2課 子音(子音表・無気音と有気音・そり舌音)
									③	第3課 鼻音を伴う母音・消えるe・eのバリエーション
									④	第4課 声調変化・”不”の変調、”一”の変調
									⑤	第5課 あいさつ用語・新出単語と会話、文法ポイント
									⑥	第6課 ホテルチェックイン
									⑦	第7課 夜景が綺麗
									⑧	第8課 電車で
									⑨	第9課 化粧品売り場で
									⑩	第10課 花火大会
18	参	考	書							

1	課 程	商業実務課程	5	科 目 名	中国語Ⅱ	
2	学 科	ホテル観光科	6	科 目 番 号	19	
3	履 修 単 位	20時間	7	期	後期	
4	開 講 学 年	2学年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	李 英	9	授 業 形 態	講義
		資 格			所 属	
		実 務 経 験	中国籍			
11	教 科 書	朝日出版社「ニーハオ！ニッポンーふりむけば、中国語」				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等					
13	科 目 の 概 要	中国語の基礎を学ぶ				
14	科 目 の 到 達 目 標	簡単な中国語でのコミュニケーションをとれるレベルの会話のスキルを身につける。				
15	科 目 の 必 須 条 件	成績は、資格試験受験または定期試験、出席率、平常点(態度、学習意欲)、提出課題等を総合して評価する。成績が60点より低い場合、原則として科目は不合格とみなされる。定期試験より90%、意欲・出席点10%出席率が66.67%より低い場合、いかなる状況下でも単位は認められない。				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意する。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かるうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)				
17	講 義 の スケジュール	①	第11課 日本の雑貨			
		②	第12課 おいしい和牛をどうぞ			
		③	第13課 日本の人気デザート			
		④	第14課 着物体験			
		⑤	第15課 温泉に入る			
		⑥	第16課 日帰りバスツアー			
		⑦	第17課 日本人と漫画			
		⑧	第18課 歌舞伎鑑賞			
		⑨	第19課 お土産を買う			
		⑩	第20課 別れ			
		⑪				
		⑫				
		⑬				
18	参 考 書					

1	課 程	商業実務専門課程	5	科 目 名	管理会計 I	
2	学 科	ホテル観光科	6	科 目 番 号	24	
3	授 業 時 数	20時間	7	期	前期	
4	開 講 学 年	2年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	井上 真二	9	授 業 形 態	講義
		資 格	販売士講師		所 属	㈱紅蘭亭グループHD
		実 務 経 験	(株)紅蘭亭GHDにて管理部長として30年勤務、熊本YMCA学院講師として15年以上			
11	教 科 書	ダイヤモンド社「ビジネス総合学科にいちばん使える会計の本」				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等					
13	科 目 の 概 要	現場の数字として売上増、利益増のための目標の設定や数字の仕組み、改善方法などを予定				
14	科 目 の 到 達 目 標					
15	科 目 の 必 須 条 件	成績は、資格試験受験または定期試験、出席率、平常点(態度、学習意欲)、提出課題等を総合して評価する。成績が60点より低い場合、原則として科目は不合格とみなされる。定期試験より90%、意欲・出席点10%出席率が66.67%より低い場合、いかなる状況下でも単位は認められない。				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意する。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かろうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)				
17	講 義 の ス ケ ュ ー ル	①	算数がわかれば「会計」は理解できる			
		②	売上高・原価・粗利益・棚卸の基本的な考え方、労働配分率などの経費説明			
		③	事業の損益構造と構成比でチェックする			
		④	貸借対照表の理解法(BSの科目、BS・PL・CFのつながり理解)			
		⑤	貸借対照表の理解法(キャッシュフロー計算書、利益＝現金にならないわけ)			
		⑥	キャッシュフロー計算書をビジネスにどう使うか			
		⑦	損益計算書の確認テスト、貸借対照表の確認テスト			
		⑧	確認テストの説明			
		⑨	粗利益・原価率の確認、決算書で会社の健康状態をチェック			
		⑩	決算書での経営分析指標を使って会社の状態をチェック			
18	参 考 書					

1	課 程	商業実務専門課程	5	科 目 名	管理会計Ⅱ	
2	学 科	ホテル観光科	6	科 目 番 号	25	
3	授 業 時 数	20時間	7	期	後期	
4	開 講 学 年	2年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	井上 真二	9	授 業 形 態	講義
		資 格	販売士講師		所 属	
		実 務 経 験	(株)紅蘭亭GHDにて管理部長として30年勤務、熊本YMCA学院講師として15年以上			
11	教 科 書	ダイヤモンド社「ビジネス総合学科にいちばん使える会計の本」				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等					
13	科 目 の 概 要	現場の数字として売上増、利益増のための目標の設定や数字の仕組み、改善方法などを予定				
14	科 目 の 到 達 目 標					
15	科 目 の 必 須 条 件	成績は、資格試験受験または定期試験、出席率、平常点(態度、学習意欲)、提出課題等を総合して評価する。成績が60点より低い場合、原則として科目は不合格とみなされる。定期試験より90%、意欲・出席点10%出席率が66.67%より低い場合、いかなる状況下でも単位は認められない。				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意する。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かろうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)				
17	講 義 の ス ケ ジ ュ ー ル	①	前期試験問題を中心に決算書の復習			
		②	在庫管理の基本知識			
		③	どのように売上を増やしていくのか			
		④	どのように利益を増やしていくのか			
		⑤	儲けの出る売価をどうやって決めるのか			
		⑥	売上をいくら上げれば目標利益に届くのか			
		⑦	損益分岐点売上高の考え方			
		⑧	月次決算書の考え方			
		⑨	月次決算書の考え方			
		⑩	まとめ			
18	参 考 書					

1	課 程	商業実務専門課程	5	科 目 名	労務管理	
2	学 科	ホテル観光科	6	科 目 番 号	15	
3	授 業 時 数	20	7	期	後期	
4	開 講 学 年	2年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	開田 晋平	9	授 業 形 態	講義
		資 格			所 属	
		実 務 経 験	職業訓練校講師5年以上			
11	教 科 書	公益財団法人全国労働基準関係団体連合会「やさしい職場の人事労務と安全衛生の基本」				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等					
13	科 目 の 概 要	労働基準法のうち、主に「労働時間・休日・賃金」の基礎を学び、得た知識を活用して社会における諸問題について、自らの考えを構築する力をつける。				
14	科 目 の 到 達 目 標	労働法に関する基本的な事項を学ぶことを通し、社会で働くときに必要となる基礎的な知識及び考える力を習得することを目的とする。				
15	科 目 の 必 須 条 件	成績は、資格試験受験または定期試験、出席率、平常点(態度、学習意欲)、提出課題等を総合して評価する。成績が60点より低い場合、原則として科目は不合格とみなされる。定期試験より90%、意欲・出席点10%出席率が66.67%より低い場合、いかなる状況下でも単位は認められない。				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意する。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かろうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)				
17	講 義 の ス ケ ジ ュ ー ル	①	オリエンテーション/労働法と労働契約①(「働く」とはどういうことか)			
		②	募集する際の基本			
		③	人を採用するときの基本			
		④	労働時間・休憩・休日・休暇			
		⑤	賃金/女性の雇用管理			
		⑥	育児・介護休暇制度と性差別の禁止/年少者の雇用管理			
		⑦	36協定			
		⑧	雇用契約書について			
18	参 考 書					

1	課 程	商業実務課程	5	科 目 名	コンピューター演習Ⅲ	
2	学 科	ホテル観光科	6	科 目 番 号	29	
3	授 業 時 数	40時間	7	期	前期	
4	開 講 学 年	2年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	山本裕美	9	授 業 形 態	演習
		資 格	コンピューターサービス技能評価試験ワープロ/表計算2級 Microsoft office Word/Excel サーティファイ PowerPoint 上級 サーティファイ ホームページ作成			
		実 務 経 験	大学情報処理非常勤講師 9年 熊日、RKKカルチャーセンター、各自治体公民館、自立支援、職業訓練センター、障害者支援施設 講師			
11	教 科 書	日経BP社 情報活用 ワープロ、表計算				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	日本情報処理検定協会 日本語ワープロ検定試験、情報処理技能検定試験 P検定協会 P検定3級				
13	科 目 の 概 要	全30コマでWord機能を使いこなしたワープロ文書作成技術と同時に表計算技術を習得し、効果的な事務処理能力を身につける。				
14	科 目 の 到 達 目 標	それぞれのソフトの機能を使い分け適応した文書作成ができ、表計算技術で速やかに効率よく事務処理ができる能力を身につける。				
15	科 目 の 必 須 条 件	成績は、資格試験受験または定期試験、出席率、平常点(態度、学習意欲)、提出課題等を総合して評価する。成績が60点より低い場合、原則として科目は不合格とみなされる。授業内で作成する課題及び、指定された課題作成で40%の評価、資格試験、定期試験より40%、平常点10%、出席点10% 出席率が66.67%より低い場合、いかなる状況下でも単位は認められない。				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意する。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かろうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)				
17	講 義 の スケジュール	①	Word 差し込み印刷 宛名ラベル作成			
		②	Word 表作成活用(請求書) Word 図形作成(地図) Smart Art グラフ編集 テキストボックス			
		③	Word 既存データ利用 Excelデータ テーマ			
		④	Word 長文作成 スタイル 段組み アウトライン 検索 置換 長文編集 文書の保護 総合復習			
		⑤	Excel シートの操作 グラフ グラフ編集			
		⑥	Excel データベース データ抽出			
		⑦	Excel 複雑なデータの抽出 データベース関数			
		⑧	Excel ワークシート間の集計 集計作業の自動化 ピボット			
		⑨	総合復習①②			
		⑩	P検 対策 Word部門			
			P検 対策 Excel部門			
			P検 試験対策 ①②			
			Word 級別試験対策			
	Excel 級別試験対策					
	総合復習					
18	参 考 書	日本情報処理検定協会出版 日本語ワープロ検定試験模擬問題集、情報処理技能検定試験模擬問題集 日本情報処理検定協会ホームページ 過去問題 P検協会発行 「P検」3級テキスト				

1	課 程	商業実務課程	5	科 目 名	WEB広告	
2	学 科	ホテル観光科	6	科 目 番 号	31	
3	授 業 時 数	20時間	7	期		
4	開 講 学 年	2年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	横山 純一郎	9	授 業 形 態	演習
		資 格	JATI-ATI、サッカーB級コーチ、地域スポーツC級指導員、介護予防運動指導士、DAH-CTPC	所 属		
	実 務 経 験	スポーツインストラクター10年以上 専門学校講師9年				
	教 科 書					
11	関 連 資 格 ・ 検 定 等					
12	科 目 の 概 要	DX・society5.0の現代の広告を学ぶ。マーケティングとSNSマーケティングを比較する。SNSマーケティングの実際まで行う。				
13	科 目 の 到 達 目 標	SNSをマーケティングの道具と捉え、発信・関りからアリコリズムを学び、フォロワーを増やし、目的を達成させる。				
14	科 目 の 必 須 条 件	成績は、試験、出席率、態度、学習意欲、提出課題等を総合して評価する。成績が60点より低い場合、原則として科目は不合格とみなされる。しかし、再試験もしくは再々試験の結果が成績を授与するに十分とみなされれば単位が認定される。出席率が66.67%より低い場合、いかなる状況下でも単位は認められない。				
15	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意すること。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: karoujite認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)				
16	講 義 の スケジュール	①	オリエンテーション・マーケティングと歴史	ホテル：クラウドファンディング	健スポ：パーソナルジム・スポーツクラブOPEN	
②		マーケティングの基本	役割分担	役割分担		
③		SNSマーケティングの基本	商品の構成	商品の構成		
④		SNSマーケティング戦略	商品の戦略	商品の戦略		
⑤		SNSでのコミュニケーション	Gメール・インスタ・Google開設	Gメール・インスタ・Google開設		
⑥		シェアされるコンテンツの条件	クラウドファンディング開設	ポスティング		
⑦		SNSから販売までつなげる秘訣	中間発表	中間発表		
⑧		SNS運用の基本	中間発表	中間発表		
⑨		SNS分析	評価・戦略の練り直し	評価・戦略の練り直し		
⑩		評価・分析・今後	発表	発表		
⑪						
⑫						
⑬						
⑭						
⑮						
	参 考 書	SNSマーケティング				
18	参 考 書	日本情報処理検定協会出版 日本語ワープロ検定試験模擬問題集、情報処理技能検定試験模擬問題集 日本情報処理検定協会ホームページ 過去問題 P検協会発行 「P検」3級テキスト				

1	課 程	商業実務課程	5	科 目 名	オペレーションシステム	
2	学 科	ホテル観光科	6	科 目 番 号	32	
3	授 業 時 数	16時間	7	期	後期	
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	渡邊 和馬		9 授 業 形 態	演習
		資 格			所	属
		実 務 経 験	ホテル勤務12年			
11	教 科 書	日経BP社 情報活用 ワープロ、表計算				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	日本情報処理検定協会 日本語ワープロ検定試験、情報処理技能検定試験 P検定協会 P検定3級				
13	科 目 の 概 要	ホテルシステムでのコンピューターの習得				
14	科 目 の 到 達 目 標	それぞれのソフトの機能を使い分け適応し、速やかに効率よく事務処理ができる能力を身につける。				
15	科 目 の 必 須 条 件	成績は、資格試験受験または定期試験、出席率、平常点(態度、学習意欲)、提出課題等を総合して評価する。成績が60点より低い場合、原則として科目は不合格とみなされる。授業内で作成する課題及び、指定された課題作成で40%の評価、資格試験、定期試験より40%、平常点10%、出席点10% 出席率が66.67%より低い場合、いかなる状況下でも単位は認められない。				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意する。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かるうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)				
17	講 義 の スケジュール	①	ホテルシステムの概要			
		②	館内オペレーションシステム			
		③	宿泊システム			
		④	宴会システム			
		⑤	ブライダルコーディネート提案			
		⑥	ブライダルコーディネート提案			
		⑦	ブライダルコーディネート提案			
		⑧	ブライダルコーディネート提案			
18	参 考 書					

1	課 程	商業実務専門課程	5	科 目 名	地域観光	
2	学 科	ホテル観光科	6	科 目 番 号	35	
3	授 業 時 数	20時間	7	期	通期	
4	開 講 学 年	2学年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	多久和 扶路子	9	授 業 形 態	講義 / 演習
		資 格	観光プランナー・観光士		所 属	
	実 務 経 験	編集事務所勤務を経てフリーランスへ。九州各地の観光素材掘り起こしや観光RRなどを手がけ、マチムラ交流やインバウンドなどを手掛ける。主な仕事、るるぶやマップルなどの観光情報誌、くまにちすばいすドライブまっぴ、官公庁パンフレット、九州のムラなど。2017年～2021年、宇土市の観光PRアドバイザーを務め、網田ネーブルや宇土のイチゴを使ったクラフトビールを作ったり、タイで開催された日本博にリモートで参加するなど、beforeコロナからWithコロナの観光PRを手掛ける。				
11	教 科 書	オリジナル				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等					
13	科 目 の 概 要	前半は「観光学」について学ぶ。後半は、観光が地域にもたらす「地域観光」について学ぶ。中でも、就職後に活用できるように地域ブランドの作り方にフォーカス。座学中心。				
14	科 目 の 到 達 目 標	試験結果80点以上。旅行や物見遊山の観光だけでなく、観光の成り立ちから観光に求められているモノコトを学ぶこと。				
15	科 目 の 必 須 条 件	成績は、試験、出席率、態度、学習意欲、提出課題等を総合して評価する。成績が60点より低い場合、原則として科目は不合格とみなされる。しかし、再試験もしくは再々試験の結果が成績を授与するに十分とみなされれば単位が認定される。出席率が66.67%より低い場合、いかなる状況下でも単位は認められない。				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意すること。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かるうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)				
17	講 義 の スケジュール	① ②	オリエンテーション。観光学(観光の歴史～起源と移り変わり～)			
		③ ④	観光学(観光に関わる専門用語と観光が生み出す効果～地域社会と環境～)			
		⑤ ⑥	観光学(ツーリズムの種類と特徴)			
		⑦ ⑧	観光学(量から質へ～観光のホスピタリティとは～)			
		⑨ ⑩	観光学(今までの振り返り)・地域観光学(地域の魅力～観光が地域にもたらす力～)			
		⑪ ⑫	地域観光学(地域の魅力～九州の魅力と熊本の魅力～)			
		⑬ ⑭	地域観光学(地域の魅力～地域ブランドの作り方～)			
		⑮ ⑯	地域観光学(地域の魅力～地域ブランドの作り方～)			
		⑰ ⑱	地域観光学(地域の魅力～地域ブランドの作り方～)			
		⑲ ⑳	地域観光学(今までの振り返り)			
18	参 考 書					

1	課	程	商業実務専門課程	5	科	目	名	宿泊総論															
2	学	科	ホテル観光科	6	科	目	番	号															
3	履	修	単	位	20時間	7	期	前期															
4	開	講	学	年	2年生	8	選	択・必															
							修	必修選択															
10	担	当	氏	名	渡邊 和馬	9	授	業	形	態	演	習											
			資	格							所	属	熊本YMCA学園										
			実	務	経						験	ホテル勤務12年											
11	教	科	書	ホテル業界就職ガイド																			
12	関	連	資	格・検	定等																		
13	科	目	の	概	要	フルサービス・シティホテルの宿泊部門における運営に関する理解																	
14	科	目	の	到	達	目	標	ホテル業に対するポジティブな思考を開拓し、宿泊業務全般にわたるオーソドックス セオリーを知ること															
15	科	目	の	必	須	条	件	成績は、資格試験受験または定期試験、出席率、平常点(態度、学習意欲)、提出課題等を総合して評価する。成績が60点より低い場合、原則として科目は不合格とみなされる。定期試験より90%、意欲・出席点10%出席率が66.67%より低い場合、いかなる状況下でも単位は認められない。															
16	成	績	評	価	お	よ	び	評	価	基	準												
											成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意すること。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かりうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)												
17	講	義	の	ス	ケ	ジ	ュ	ー	ル	①	客	室	オ	ペ	レ	ー	シ	ョ	ン①				
										②	客	室	オ	ペ	レ	ー	シ	ョ	ン②				
										③	車	両	誘	導①									
										④	車	両	誘	導②									
										⑤	コ	ン	シ	ェ	ル	ジ	ュ	対	応				
										⑥	リ	レ	ー	シ	ョ	ン	オ	ペ	レ	ー	シ	ョ	ン①
										⑦	リ	レ	ー	シ	ョ	ン	オ	ペ	レ	ー	シ	ョ	ン②
										⑧	予	約	シ	ス	テ	ム	に	つ	い	て			
										⑨	ホ	テ	ル	視	察								
										⑩	ホ	テ	ル	視	察								
18	参	考	書																				

1	課	程	商業実務専門課程	5	科	目	名	ホテルサービス I									
2	学	科	ホテル観光科	6	科	目	番	号									
3	履	修	単	位	16時間	7	期	前期									
4	開	講	学	年	2年生	8	選	択・必									
							修	必修選択									
10	担	当	氏	名	渡邊 和馬	9	授	業	形	態	演	習					
			資	格							所	属	熊本YMCA学園				
			実	務	経						験	ホテル勤務12年					
11	教	科	書														
12	関	連	資	格・検	定等												
13	科	目	の	概	要	ホテル全般の業務及びおもてなしについての実務習得。ホテル企画商品の開発・提案。											
14	科	目	の	到	達	目	標										
15	科	目	の	必	須	条	件	成績は、資格試験受験または定期試験、出席率、平常点(態度、学習意欲)、提出課題等を総合して評価する。成績が60点より低い場合、原則として科目は不合格とみなされる。定期試験より90%、意欲・出席点10%出席率が66.67%より低い場合、いかなる状況下でも単位は認められない。									
16	成	績	評	価	お	よ	び	評	価	基	準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意する。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: karoujite認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)					
17	講	義	の	ス	ケ	ジ	ユ	ー	ル	①	ホスピタリティーとは						
										②	ホテル業界研究 宿泊						
										③	ホテル業界研究 宿泊						
										④	ホテル業界研究 宴会						
										⑤	ホテル業界研究 宴会						
										⑥	ホテル業界研究 宴会						
										⑦	ホテル業界研究 宴会						
										⑧	ホテル業界研究 宴会						
										⑨	ホテル業界研究 予約						
										⑩	ホテル業界研究 予約						
18	参	考	書														

1	課	程	商業実務専門課程	5	科	目	名	ホテルサービスⅡ									
2	学	科	ホテル観光科	6	科	目	番	号									
3	授	業	時	数	16時間	7	期	後期									
4	開	講	学	年	1年	8	選	択・必									
							修	必修									
10	担	当	氏	名	渡邊 和馬	9	授	業	形	態	演	習					
			資	格							所	属	熊本YMCA学園				
			実	務	経						験	ホテル勤務12年					
11	教	科	書	-													
12	関	連	資	格・検	定等												
13	科	目	の	概	要	ホテル全般の業務及びおもてなしについての実務習得。ホテル企画商品の開発・提案。											
14	科	目	の	到	達	目	標										
15	科	目	の	必	須	条	件	成績は、資格試験受験または定期試験、出席率、平常点(態度、学習意欲)、提出課題等を総合して評価する。成績が60点より低い場合、原則として科目は不合格とみなされる。定期試験より90%、意欲・出席点10%出席率が66.67%より低い場合、いかなる状況下でも単位は認められない。									
16	成	績	評	価	お	よ	び	評	価	基	準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意する。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かろうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)					
17	講	義	の	ス	ケ	ジ	ュ	ー	ル	①	ホテル業界研究	バンケット提案					
										②	ホテル業界研究	バンケット提案					
										③	ホテル業界研究	バンケット提案					
										④	ホテル業界研究	プランニング					
										⑤	ホテル業界研究	プランニング					
										⑥	ホテル業界研究	プランニング					
										⑦	ホテル業界研究	宴会実施					
										⑧	ホテル業界研究	宴会実施					
										⑨	ホテル業界研究	宴会実施					
										⑩	ホテル業界研究	宴会実施					
18	参	考	書														

1	課 程	商業実務専門課程	5	科 目 名	バー・ラウンジ		
2	学 科	ホテル観光科	6	科 目 番 号	47		
3	授 業 時 数	15時間	7	期	前期		
4	開 講 学 年	2学年	8	選 択 ・ 必 修	必修		
10	担 当 教 員	氏 名	中川 浩次	9	授 業 形 態	講義	
		資 格	ソムリエ、シニアワインエキスパート、SAKE DIPLOMA(以上、JSA) 唎酒師、焼酎唎酒師(以上、SSI)			所 属	ホテル熊本テルサ 一般社団法人 日本ソムリエ協会
		実 務 経 験	ホテル勤務 25年以上 一般社団法人 日本ソムリエ協会(JSA) 熊本支部 支部長				
教 科 書	バー・ラウンジ編/ウイネット						
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等						
13	科 目 の 概 要	ホテルの要素の一つである「バー・ラウンジ部門」について基本から学ぶ。 1.バー・ラウンジの概要 2.酒の基礎知識 3.カクテルの基礎知識 4.ワインの基礎知識 5.ソムリエ					
14	科 目 の 到 達 目 標	1.カクテルやワインなど、酒類全般に興味を持つ。 2.ホテルビジネスやホテル就職に不可欠な「バー・ラウンジ部門」の基本知識を身につける。 3.バーやレストラン、酒飯店で、カクテルやワインの注文、購入が出来るようになる。					
15	科 目 の 必 須 条 件	成績は、資格試験受験または定期試験、出席率、平常点(態度、学習意欲)、提出課題等を総合して評価する。成績が60点より低い場合、原則として科目は不合格とみなされる。定期試験より90%、意欲・出席点10%出席率が66.67%より低い場合、いかなる状況下でも単位は認められない。					
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意すること。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かるうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)					
17	講 義 の スケジュール	①	1. バー・ラウンジの概要				
		②	2. 酒の基礎知識				
		③	3. カクテルの基礎知識				
		④	※ バーテンダーの実技				
		⑤	4. ワインの基礎知識 1 (ワインの歴史、ワイン概論、ブドウの栽培、醸造、分類、ワイン用ブドウ品種)				
		⑥	4. ワインの基礎知識 2 (旧世界のワイン産地 ① /フランス、イタリア)				
		⑦	4. ワインの基礎知識 3 (旧世界のワイン産地 ② /ドイツ、スペイン、ポルトガル)				
		⑧	4. ワインの基礎知識 4 (新世界のワイン産地/アメリカ、オーストラリア、チリ、アルゼンチン、日本、他)				
		⑨	5. ソムリエ				
		⑩	※ ソムリエの実技				
18	参 考 書						

1	課 程	商業実務専門課程	5	科 目 名	HRS実践講座 I	
2	学 科	ホテル観光科	6	科 目 番 号	50	
3	授 業 時 数	16時間	7	期	前期	
4	開 講 学 年	1年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	西本 太	9	授 業 形 態	講義
		資 格			所 属	KKRホテル熊本
		実 務 経 験	ホテル勤務5年以上			
11	教 科 書					
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等					
13	科 目 の 概 要	国家資格であるホテルレストランサービス検定の料飲接客技能を学ぶ				
14	科 目 の 到 達 目 標	HRS検定に合格すること				
15	科 目 の 必 須 条 件	成績は、資格試験受験または定期試験、出席率、平常点(態度、学習意欲)、提出課題等を総合して評価する。成績が60点より低い場合、原則として科目は不合格とみなされる。定期試験より90%、意欲・出席点10%出席率が66.67%より低い場合、いかなる状況下でも単位は認められない。				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意する。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かろうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)				
17	講 義 の スケジュール	①	食品			
		②	料飲の種類および特徴			
		③	料飲の種類および特徴			
		④	料飲の種類および特徴			
		⑤	西洋料理の食事道具・備品			
		⑥	レストラン			
		⑦	客席案内			
		⑧	注文オペレーション			
18	参 考 書					

1	課 程	商業実務専門課程	5	科 目 名	料飲接客サービス技法	
2	学 科	ホテル観光科	6	科 目 番 号	51	
3	授 業 時 数	16時間	7	期	前期	
4	開 講 学 年	2年	8	選 択 ・ 必 修	必修	
10	担 当 教 員	氏 名	西本 太	9	授 業 形 態	講義
		資 格			所 属	KKRホテル熊本
		実 務 経 験	ホテル勤務5年以上			
11	教 科 書					
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等					
13	科 目 の 概 要	国家資格であるホテルレストランサービス検定の料飲接客技能を学ぶ				
14	科 目 の 到 達 目 標	HRS検定に合格すること				
15	科 目 の 必 須 条 件	成績は、資格試験受験または定期試験、出席率、平常点(態度、学習意欲)、提出課題等を総合して評価する。成績が60点より低い場合、原則として科目は不合格とみなされる。定期試験より90%、意欲・出席点10%出席率が66.67%より低い場合、いかなる状況下でも単位は認められない。				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意する。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かろうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)				
17	講 義 の スケジュール	①	食品			
		②	料飲の種類および特徴			
		③	料飲の種類および特徴			
		④	料飲の種類および特徴			
		⑤	西洋料理の食事道具・備品			
		⑥	レストラン			
		⑦	客席案内			
		⑧	注文オペレーション			
18	参 考 書					

1	課 程	商業実務専門課程	5	科 目 名	HRS実践講座	
2	学 科	ホテル観光科	6	科 目 番 号	34	
3	授 業 時 数	16時間	7	期	後期	
4	開 講 学 年	2年	8	選 択 ・ 必 修	選択	
10	担 当 教 員	氏 名	中川 浩次	9	授 業 形 態	講義
		資 格	ソムリエ、シニアワインエキスパート、SAKE DIPLOMA(以上、JSA) 唎酒師、焼酎唎酒師(以上、SSI)	所 属	ホテル熊本テルサ 一般社団法人 日本ソムリエ協会	
		実 務 経 験	ホテル勤務 25年以上 一般社団法人 日本ソムリエ協会(JSA) 熊本支部 支部長			
11	教 科 書					
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等					
13	科 目 の 概 要					
14	科 目 の 到 達 目 標	HRS検定3級合格				
15	科 目 の 必 須 条 件	成績は、資格試験受験または定期試験、出席率、平常点(態度、学習意欲)、提出課題等を総合して評価する。成績が60点より低い場合、原則として科目は不合格とみなされる。定期試験より90%、意欲・出席点10%出席率が66.67%より低い場合、いかなる状況下でも単位は認められない。				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意する。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かろうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)				
17	講 義 の スケジュール	①	HRS3級実技訓練			
		②	HRS3級実技訓練			
		③	HRS3級実技訓練			
		④	HRS3級実技訓練			
		⑤	HRS3級実技訓練			
		⑥	HRS3級実技訓練			
		⑦	HRS3級実技訓練			
		⑧	HRS3級実技訓練			
18	参 考 書					

1	課 程	商業実務専門課程	5	科 目 名	ブライダルⅡ	
2	学 科	ホテル観光科	6	科 目 番 号	57	
3	履 修 単 位	20時間	7	期	前期	
4	開 講 学 年	2年生	8	選 択 ・ 必 修	必修選択	
10	担 当 教 員	氏 名	上野 浩一	9	授 業 形 態	講義
		資 格			所 属	
		実 務 経 験	ホテル勤務5年以上			
11	教 科 書	ブライダル総論/日本ホテル教育センター				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等					
13	科 目 の 概 要	ブライダル業界の動向を研究し、知識の構築に努める。業界用語、産業そしてホテル業界の中でのブライダルの位置づけを知る。				
14	科 目 の 到 達 目 標	BIA検定に対応できる知識とコーディネーターとしての役割とノウハウを学ぶ。				
15	科 目 の 必 須 条 件	成績は、資格試験受験または定期試験、出席率、平常点(態度、学習意欲)、提出課題等を総合して評価する。成績が60点より低い場合、原則として科目は不合格とみなされる。定期試験より90%、意欲・出席点10%出席率が66.67%より低い場合、いかなる状況下でも単位は認められない。				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意する。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: karouじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)				
17	講 義 の スケジュール	①	婚礼の種類			
		②	挙式のスタイル1			
		③	挙式のスタイル2			
		④	披露宴のスタイル			
		⑤	地域による特性			
		⑥	婚礼部門の組織			
		⑦	スタッフの役割			
		⑧	葬儀・法事とは			
		⑨	仏式葬儀の進行とマナー			
		⑩	課題学習			
18	参 考 書					

1	課 程	商業実務専門課程	5	科 目 名	ブライダルⅡ	
2	学 科	ホテル観光科	6	科 目 番 号	57	
3	履 修 単 位	20時間	7	期	前期	
4	開 講 学 年	2年生	8	選 択 ・ 必 修	必修選択	
10	担 当 教 員	氏 名	上野 浩一	9	授 業 形 態	講義
		資 格			所 属	
		実 務 経 験	ホテル勤務5年以上			
11	教 科 書	ブライダル総論/日本ホテル教育センター				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等					
13	科 目 の 概 要	ブライダル業界の動向を研究し、知識の構築に努める。業界用語、産業そしてホテル業界の中でのブライダルの位置づけを知る。				
14	科 目 の 到 達 目 標	BIA検定に対応できる知識とコーディネーターとしての役割とノウハウを学ぶ。				
15	科 目 の 必 須 条 件	成績は、資格試験受験または定期試験、出席率、平常点(態度、学習意欲)、提出課題等を総合して評価する。成績が60点より低い場合、原則として科目は不合格とみなされる。定期試験より90%、意欲・出席点10%出席率が66.67%より低い場合、いかなる状況下でも単位は認められない。				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意する。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かろうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)				
17	講 義 の スケジュール	①	前期フォローアップ			
		②	成約率アップ攻略			
		③	成約率アップ攻略			
		④	付帯提案			
		⑤	クロージング			
		⑥	婚礼プランニング			
		⑦	婚礼プランニング			
		⑧	検定対策 ロールプレイング			
		⑨	検定対策 ロールプレイング			
		⑩	検定対策 ロールプレイング			
18	参 考 書					

1	課 程	商業実務専門課程	5	科 目 名	BIA検定対策	
2	学 科	ホテル観光科	6	科 目 番 号	58	
3	授 業 時 数	16時間	7	期	後期	
4	開 講 学 年	2年	8	選 択 ・ 必 修	必選	
10	担 当 教 員	氏 名	江口 久美子	9	授 業 形 態	講義
		資 格	教員免許(家庭科) BIA認定ブライダルコーディネーター ABC認定ブライダルコーディネーター	所	属	合同会社 La Grange
		実 務 経 験	結婚専門式場 10年 ホテル勤務 17年 専門学校非常勤講師 15年			
11	教 科 書	ブライダル実務テキスト参考				
12	関 連 資 格 ・ 検 定 等	ブライダルコーディネータ技能検定3級(国家検定)				
13	科 目 の 概 要	ブライダルコーディネータ職種における初級の「専門知識」の習得				
14	科 目 の 到 達 目 標	ブライダルコーディネータ技能検定3級【学科・実技】両方合格				
15	科 目 の 必 須 条 件	成績は定期試験、出席率、態度、学習意欲、提出課題等を総合して評価する。成績が60点より低い場合、原則として科目は不合格とみなされる。しかし、再試験もしくは再々試験の結果が成績を授与するに十分とみなされれば単位が認定される。出席率が66.67%より低い場合、いかなる状況下でも単位は認められない。				
16	成 績 評 価 お よ び 評 価 基 準	成績評価と点数の関係は下記の通りである。点数は総合評価に基づいていることに注意すること。 A: 優秀な点数で科目に合格した。(100-80) B: 申し分ない点数で科目に合格した。(79-70) C: かるうじて認められる点数で科目に合格した。(69-60) D: 合格点数に到達せず、科目に不合格した。(59-0)				
17	講 義 の スケジュール	①	オリエンテーション ブライダルコーディネータ技能検定とは			
		②	ブライダルコーディネータ過去問題 ブライダルコーディネータの役割と業務			
		③	ブライダルコーディネータ過去問題 ブライダルに関する基礎			
		④	ブライダルコーディネータ過去問題 ブライダル市場			
		⑤	ブライダルコーディネータ過去問題 ブライダル経営管理・コンプライアンス			
		⑥	ブライダルコーディネータ過去問題 クレームへの対応 ・ヒアリング・プレゼンテーション			
		⑦	ブライダルコーディネータ過去問題 手配業務			
		⑧	ブライダルコーディネータ過去問題 当日業務			
18	参 考 書	*ブライダルコーディネータテキスト(スタンダード)資料コピー配布				